健康推進プランよこすか事業計画一覧

◎…主な取り組み事業

○…関連する事業

① 栄養・食生活

No	KPI (重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度 目標	令和6年度 実績	評価	令和7年度 目標	担当課コメント	担当部署	栄養・食 生活
1	後期高齢者健康診査受診率	25%	23.60%	A	25%	受診率が向上するよう対策をしていく	健康管理支援課	○
2	医療保険非該当者の保健指導実施人数	10人	11人	A	10人	登録後初めて実施する医療機関が増えた。引き続き継続していく	健康管理支援課	○
3	骨密度検診受診者数	3,250人	3,184人	A	1,865人	令和7年度より対象者を定め医療機関でも実施できる仕組みを構築した	健康管理支援課	○
4	後期高齢者健康診査受診勧奨通知の発送数	73,000通	71,685通	A	73,000通	効果的な勧奨の実施を行っていく	健康管理支援課	○
5	市のホームページ等に健診実施医療機関情報 (日曜診療等)の掲載医療機関件数	137件	151件	A	150件	引き続き医療機関と情報共有を行いながら実施していく	健康管理支援課	○
6	健診センター特定健診受診者数 (40歳～74歳の国民健康保険・社会保険の被保 険者)	3,268人	3,069人	A	2,669人	目標値に向け引き続き継続していく	健康管理支援課	○
7	健診センターの休日健診実施回数	3回	3回	A	3回	引き続き継続していく	健康管理支援課	○
8	健診センターにおける生活習慣病の予防と改善を 目的とした結果説明会実施回数	11回	11回	A	11回	引き続き継続していく	健康管理支援課	○
9	毎月市のホームページに健診実施医療機関情報を 掲載	11回	11回	A	11回	引き続き掲載内容を適宜更新、確認していく	健康管理支援課	○
10	生活習慣病の特定健診受診率 (国民健康保険加入の40～74歳が対象)	33.0%	実績は10月以 降に確定		34.0%	20.1%(令和7年2月時点の速報値) 前年同時期と比較すると2.3ポイント伸びている	健康管理支援課	○
11	特定保健指導実施率	15.0%	実績は10月以 降に確定		16.0%	0%(令和7年2月時点の速報値) 前年同時期と同レベル。実績は今後伸びてくる見込み。	健康管理支援課	○
12	特定健康診査の結果、血圧のリスクがある方へ重 症化を予防する支援を実施率	38.5%	21.5%	D	38.5%	血糖の受診率は目標値を達成。血圧・脂質の受診率は、目標未達成となっている。 引き続き効果的な方法を模索しながら対応していく。	健康増進課	○
13	特定健康診査の結果、血糖のリスクがある方へ重 症化を予防する支援を実施率	38.5%	47.4%	A	38.5%		健康増進課	○
14	特定健康診査の結果、脂質のリスクがある方へ重 症化を予防する支援を実施率	38.5%	30.0%	B	38.5%		健康増進課	○
15	特定健康診査の結果、腎臓のリスクがある方へ重 症化を予防する支援を実施率	51.5%	実績は8月以 降に確定		51.7%	腎臓専門医、医師会等と検討し、R7年度より照会基準等変更予定。	健康管理支援課	○
16	妊娠期から子育て期における乳幼児健診、相談、 訪問の実施率	100%	100%	A	100%	乳幼児健診時から保護者に寄り添った子育て支援をし、必要に応じて訪問等で継 続支援しました。引き続き、切れ目ない支援を実施します。	地域健康課	○
17	妊娠期からの各種教室の実施回数	64回	63回	A	64回	概ね計画とおりに開催できました。教室の周知に努め引き続き実施します。	地域健康課	◎

No	KPI (重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度 目標	令和6年度 実績	評価	令和7年度 目標	担当課コメント	担当部署	栄養・食 生活
18	子育て期の各種教室の実施回数	254回	275回	A	241回	予約者なしで実施に至らなかったものもありますが、随時教室の周知に努めました。引き続き実施します。	地域健康課	◎
19	地域からの依頼による健康教育の実施回数	44回	44回	A	-	地域からの依頼により、子育て支援教室を実施しました。地域の要望に合わせ引き続き実施します。	地域健康課	◎
20	生後4カ月までの乳児の養育環境の把握率	100%	100%	A	100%	新生児・乳児家庭訪問を行い、訪問ができなかった家庭については面接等を実施し、全数把握に努めました。引き続き実施します。	地域健康課	○
21	公立保育園での食育パフォーマンスの実施回数	16回	12回	B	16回	保育所等の給食で提供される出汁(鰹節、昆布、煮干し等)の試飲や食器の正しい置き方等マナーも含む五感を使った参加型の講和を引き続き実施します	子育て支援課	◎
22	市内保育園等98施設に食事のおたよりの配布回数	12回	12回	A	12回	食事の大切さの啓発として引き続き実施します	子育て支援課	◎
23	公立保育園にて食育講話の実施回数	96回	96回	A	96回	食事の大切さの啓発として引き続き実施します	子育て支援課	◎
24	公立保育園で毎日の給食時に保育士等による食指導および共食の実施園数	8園	8園	A	8園	引き続き実施します	子育て支援課	○
25	公立保育園で園内菜園の実施園数	8園	8園	A	8園	今後も実施し園児が野菜等に興味を持つよう促します	子育て支援課	○
26	公立保育園での健診の実施回数	各園 0～2歳隔月 3～5歳児3回	各園 0～2歳隔月 3～5歳児3回	A	各園 0～2歳隔月 3～5歳児3回	引き続き実施します	子育て支援課	○
27	学校食育研修講座の参加率	95%	98%	A	95%	学校におけるアレルギー疾患への対応をテーマに実施しました。令和7年度は、学校における食に関する指導をテーマに行います。受講者の糧となるよう、計画立案していきます。	学校食育課	◎
28	小・中・特別支援学校での給食だより等の配布率	100%	100%	A	17回	令和7年6月からマチコミメールでの配信に切り替わったため、7年度から評価指標を「小・中・ろう学校への献立表とセンター通信発信回数」に、目標も「17回」に変更します。また、4月からオープンデータはBODIK ODCS(オープンデータカタログサイト)への掲載へと変更しています。	学校食育課	◎
29	「食に関する指導の全体計画」の実行	100%	100%	A	100%	令和7年4月から統廃合により小学校数が2校減るため、目標数を変更します。	学校食育課	○
30	「給食時間マニュアル」に基づいた給食指導の実践学校数	71校	71校	A	69校		学校食育課	◎
31	関連各教科における食に関する指導(栄養教諭等の活用も含め)の実践学校数	71校	71校	A	69校		学校食育課	◎
32	給食センターにおける食育講座の実施回数	20回	17回	B	20回	申込希望数が18回で、申込元事由により開催中止が1回あり、17回実施となりました。周知方法を検討しつつ、令和7年度も実施していきます。	学校食育課	◎
33	精神保健対策事業における講演会・研修会及び地域からの依頼による教室の実施回数	1回	2回	A	1回	6年度は①北久里浜まちづくり協議会「こころの病について」②米軍基地「職場・家庭のメンタルケア」と2回実施。7年度についても依頼があれば随時実施予定。	保健所保健予防課	○
34	コミュニティセンターにおける各種講座の実施数	44講座	44講座	A	-	今後も継続して、関連する講座の実施を目指す	地域コミュニティ支援課	○

No	KPI (重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度 目標	令和6年度 実績	評価	令和7年度 目標	担当課コメント	担当部署	栄養・食 生活
35	農業交流促進事業の実施校数(児童対象)	3校	3校	A	3校	計画を達成することができました。引き続き実施します。	農水産振興課	○
36	集団健康教育の参加率	60%	18.7%	D	60%	実施方法を変更し、定員を増やしたため定員に対する参加率が減少した。参加状況を鑑み、回数を6回から4回に、定員を50人から30人に変更して開催予定。また、申込者に対し、当日欠席となる市民が多い(約半分が当日不参加)ため、申込期間を短縮し忘れにくくし、またリマインドメールが届く方法での申込も導入している。	健康増進課	◎
37	健康教育に関する講演会の参加率	65%	67%	A	70%	健康づくり講演会および働きざかり講演会を開催。健康づくり講演会はラジオ体操をテーマに行い、ラジオ体操活動支援団からの参加も多かった。働きざかり講演会は会場とZOOMで開催した。会場参加のみでなく、ZOOMからの参加者も多く働きざかり世代(40歳から64歳)のZOOM参加が多かった。	健康増進課	◎
38	地域、職域連携による健康教育の実施数	15回	15回	A	15回	依頼に応じた内容を実施した。引き続き働きざかり世代への働きかけを行っていく。	健康増進課	◎
39	健康アプリ利用者数	5,000人	6,049人	A	7,000人	昨年度より利用者数の増加を目指す。	健康増進課	○
40	ヘルスメイト会員数	45人	42人	A	45人	会員数は目標に届かなかったが、養成講座に参加した市民全員が会員になった。令和7年度は養成講座参加者の人数を増加させるために引き続き周知等に力を入れたい。	健康増進課	○
41	ヘルスメイト委託事業参加者数	230人	264人	A	280人	実績値の根拠は、保育園での講話(205名)、講話と調理実習(59名)	健康増進課	◎
42	食育に関する教室等の講習会参加率	70%	76%	A	70%	実績値の根拠は、魚のさばき方教室(申込15名、参加14名)、食育推進調理講習(申込40名、参加28名)	健康増進課	◎
43	食育関係団体との連携数	308機関	308機関	A	310機関	実績値の根拠はE表示協力店(298)+新規登録店(2)+ヘルスメイトよこすか、神奈川県立保健福祉大学、商工会議所、JA、食品衛生協会、イオン、キューピー、味の素(8)。今後も広く連携し、累積して目標を達成していく。	健康増進課	○
44	食育推進キャンペーンの参加者数	1,400人	3,767人	A	-	健康フェスタの総数を計上。食育ブースとしては1040名。	健康増進課	◎
45	巡回指導を行った給食施設数	60施設	50施設	B	54施設	目標達成には至らなかったものの、コロナ禍以前と同様に巡回指導が再開できた。また、事業所にも巡回指導を実施することができた。	健康増進課	○
46	特定給食施設講演会参加施設数	67施設	77施設	A	77施設	ハイブリット形式で実施。半数以上がオンラインでの参加。今後もハイブリット形式で実施していく。	健康増進課	○
47	一般健康相談の満足度	80%	94%	A	90%	17名の参加があり、満足度は高かった。引き続き実施していく。	健康増進課	○
48	後期高齢者を対象にした保健事業で日常生活圏域の事業実施(圏域数)	10圏域	10圏域	A	10圏域	市内10圏域全域で実施することができた。引き続き市内全域で実施していく。	健康増進課	○
49	後期高齢者を対象にしたフレイル予防の普及啓発で日常生活圏域の事業実施(団体数)	10団体	10団体	A	13団体	令和6年度は、地域包括支援センターの協力のもと、実施団体を10圏域より選出した。令和7年度より実施団体数を増加させるため、市内全域から、団体を選出し、実施していく。	健康増進課	◎
50	介護予防に関する知識の普及のための教室等の教室参加者数(栄養・運動)	400人	294人	B	400人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。実施会場の見直しをし、実施していく。	健康増進課	◎
51	介護予防サポーター、フレイルサポーター養成数(介護予防・フレイル)	110人	65人	D	100人	委託部分の集客が困難だったためR7度より直営のみの2会場開催にし、講座の内容も見直す。	健康増進課	○
52	地域型介護予防教室(委託)回数	240回	177回	B	240回	令和7年度は、地域の実情に合わせた教室の実施ができるよう、方法を見直し実施している。	健康増進課	◎

健康推進プランよこすか事業計画一覧

② 身体活動・運動

No	KPI（重要業績評価指数） 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度 目標	令和6年度 実績	評価	令和7年度 目標	担当課コメント	担当部署	身体活 動・運動
1	医療保険非該当者の保健指導実施人数	10人	11人	A	10人	登録後初めて実施する医療機関が増えた。引き続き継続していく	健康管理支援課	○
2	骨密度検診受診者数	3,250人	3,184人	A	1,865人	令和7年度より対象者を定め医療機関でも実施できる仕組みを構築した	健康管理支援課	○
3	健診センターにおける生活習慣病の予防と改善を 目的とした結果説明会実施回数	11回	11回	A	11回	引き続き継続していく	健康管理支援課	○
4	特定保健指導実施率	15.0%	実績は10月以 降に確定		16.0%	0%（令和7年2月時点の速報値） 前年同時期と同レベル。実績は今後伸びてくる見込み。	健康管理支援課	○
5	特定健康診査の結果、血圧のリスクがある方へ重症 化を予防する支援を実施率	38.5%	21.5%	D	38.5%	血糖の受診率は目標値を達成。血圧・脂質の受診率は、目標未達成となっている。 引き続き効果的な方法を模索しながら対応していく。	健康増進課	○
6	特定健康診査の結果、血糖のリスクがある方へ重症 化を予防する支援を実施率	38.5%	47.4%	A	38.5%		健康増進課	○
7	特定健康診査の結果、脂質のリスクがある方へ重症 化を予防する支援を実施率	38.5%	30.0%	B	38.5%		健康増進課	○
8	特定健康診査の結果、腎臓のリスクがある方へ重症 化を予防する支援を実施率	51.5%	実績は8月以降 に確定		51.7%	腎臓専門医、医師会等と検討し、R7年度より照会基準等変更予定。	健康管理支援課	○
9	妊娠期から子育て期における乳幼児健診、相談、訪 問の実施率	100%	100%	A	100%	乳幼児健診時から保護者に寄り添った子育て支援をし、必要に応じて訪問等で継 続支援しました。引き続き、切れ目ない支援を実施します。	地域健康課	○
10	妊娠期からの各種教室の実施回数	64回	63回	A	64回	概ね計画とおりに開催できました。教室の周知に努め引き続き実施します。	地域健康課	○
11	子育て期の各種教室の実施回数	254回	275回	A	241回	予約者なしで実施に至らなかったものもありますが、随時教室の周知に努めまし た。引き続き実施します。	地域健康課	○
12	地域からの依頼による健康教育の実施回数	44回	44回	A	-	地域からの依頼により、子育て支援教室を実施しました。地域の要望に合わせ引 き続き実施します。	地域健康課	○
13	生後4カ月までの乳児の養育環境の把握率	100%	100%	A	100%	新生児・乳児家庭訪問を行い、訪問ができなかった家庭については面接等を実施 し、全数把握に努めました。引き続き実施します。	地域健康課	○
14	精神保健対策事業における講演会・研修会及び地 域からの依頼による教室の実施回数	1回	2回	A	1回	6年度は①北久里浜まちづくり協議会「こころの病について」②米軍基地「職場・家 庭のメンタルケア」と2回実施。7年度についても依頼があれば随時実施予定。	保健所保健予防課	○
15	新体力テスト測定員講習会の参加人数	15人	15人	A	15人	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	◎
16	スポーツフェスタの来場者数	6,000人	11,300人	A	5,000人	今後も引き続き開催していく。	スポーツ振興課	◎
17	夏休みのラジオ体操カード配布数	10,520枚	10,520枚	A	10,890枚	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	◎
18	夏休みのラジオ体操精進賞表彰数	9,385枚	9,385枚	A	10,069枚		スポーツ振興課	◎
19	学校体育施設の地域住民等への開放実施校数	60校	69校	A	67校	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○

② 身体活動・運動

No	KPI (重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度 目標	令和6年度 実績	評価	令和7年度 目標	担当課コメント	担当部署	身体活動・運動
20	市民スポーツ教室数	20教室	20教室	A	20教室	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	◎
21	参加率50%以上のスポーツ教室数	20教室	11教室	D	15教室		スポーツ振興課	◎
22	コミュニティセンターにおける各種講座の実施数	44講座	44講座	A	-	今後も継続して、関連する講座の実施を目指す	地域コミュニティ支援課	○
23	集団健康教育の参加率	60%	18.7%	D	60%	実施方法を変更し、定員を増やしたため定員に対する参加率が減少した。参加状況を鑑み、回数を6回から4回に、定員を50人から30人に変更して開催予定。また、申込者に対し、当日欠席となる市民が多い(約半分が当日不参加)ため、申込期間を短縮し忘れにくくし、またリマインドメールが届く方法での申込も導入している。	健康増進課	◎
24	健康教育に関する講演会の参加率	65%	67%	A	70%	健康づくり講演会および働きざかり講演会を開催。健康づくり講演会はラジオ体操をテーマに行い、ラジオ体操活動支援団からの参加も多かった。働きざかり講演会は会場とZOOMで開催した。会場参加のみでなく、ZOOMからの参加者も多く働きざかり世代(40歳から64歳)のZOOM参加が多かった。	健康増進課	◎
25	地域、職域連携による健康教育の実施数	15回	15回	A	15回	依頼に応じた内容を実施した。引き続き働きざかり世代への働きかけを行っていく。	健康増進課	◎
26	ラジオ体操登録団体数	100団体	83団体	B	100団体	登録団体へは引き続きサポートを行う。	健康増進課	○
27	健康アプリ利用者数	5,000人	6,049人	A	7,000人	昨年度より利用者数の増加を目指す。	健康増進課	○
28	一般健康相談の満足度	80%	94%	A	90%	17名の参加があり、満足度は高かった。引き続き実施していく。	健康増進課	○
29	後期高齢者を対象にした保健事業で日常生活圏域の事業実施(圏域数)	10圏域	10圏域	A	10圏域	市内10圏域全域で実施することができた。引き続き市内全域で実施していく。	健康増進課	○
30	後期高齢者を対象にしたフレイル予防の普及啓発で日常生活圏域の事業実施(団体数)	10団体	10団体	A	13団体	令和6年度は、地域包括支援センターの協力のもと、実施団体を10圏域より選出した。令和7年度より実施団体数を増加させるため、市内全域から、団体を選出し、実施していく。	健康増進課	◎
31	介護予防に関する知識の普及のための教室等の教室参加者数(栄養・運動)	400人	294人	B	400人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。実施会場の見直しをし、実施していく。	健康増進課	◎
32	介護予防サポーター、フレイルサポーター養成数(介護予防・フレイル)	110人	65人	D	100人	委託部分の集客が困難だったためR7度より直営のみの2会場開催にし、講座の内容も見直す。	健康増進課	○
33	地域型介護予防教室(委託)回数	240回	177回	B	240回	令和7年度は、地域の実情に合わせた教室の実施ができるよう、方法を見直し実施している。	健康増進課	◎
34	地域リハビリテーション活動支援事業における専門職派遣事業の実施団体数	6団体	1団体	D	6団体	事業内容の周知を関係機関にしていく。	健康増進課	○

③ 休養・睡眠

No	KPI (重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度 目標	令和6年度 実績	評価	令和7年度 目標	担当課コメント	担当部署	休養・ 睡眠
1	特定保健指導実施率	15.0%	実績は10月以降に確定		16.0%	0% (令和7年2月時点の速報値) 前年同時期と同レベル。実績は今後伸びてくる見込み。	健康管理支援課	○
2	特定健康診査の結果、血圧のリスクがある方へ重症化を予防する支援を実施率	38.5%	21.5%	D	38.5%	血糖の受診率は目標値を達成。血圧・脂質の受診率は、目標未達成となっている。引き続き効果的な方法を模索しながら対応していく。	健康増進課	○
3	特定健康診査の結果、血糖のリスクがある方へ重症化を予防する支援を実施率	38.5%	47.4%	A	38.5%		健康増進課	○
4	特定健康診査の結果、脂質のリスクがある方へ重症化を予防する支援を実施率	38.5%	30.0%	B	38.5%		健康増進課	○
5	特定健康診査の結果、腎臓のリスクがある方へ重症化を予防する支援を実施率	51.5%	実績は8月以降に確定		51.7%	腎臓専門医、医師会等と検討し、R7年度より照会基準等変更予定。	健康管理支援課	○
6	妊娠期から子育て期における乳幼児健診、相談、訪問の実施率	100%	100%	A	100%	乳幼児健診時から保護者に寄り添った子育て支援をし、必要に応じて訪問等で継続支援しました。引き続き、切れ目ない支援を実施します。	地域健康課	○
7	生後4カ月までの乳児の養育環境の把握率	100%	100%	A	100%	新生児・乳児家庭訪問を行い、訪問ができなかった家庭については面接等を実施し、全数把握に努めました。引き続き実施します。	地域健康課	○
8	職域との連携による健康教育の実施回数	1回	1回	A	1回	鎌倉保健福祉事務所、鎌倉保健福祉三崎センター、労働基準監督署、横須賀市保健所合同で研修会を実施。	保健所保健予防課	◎
9	精神保健対策事業における相談することの大切さについてのポスター配布数	2,000枚	2,000枚	A	2,000枚	毎年9月、3月に自殺予防週間、月間に合わせて啓発ポスターを作成し関係機関に配布している。	保健所保健予防課	◎
10	精神保健対策事業における相談機関を掲載した冊子・カードの配布数	10,000枚	14,000枚	A	14,000枚	行政機関を中心に、福祉施設、病院、学校等相談冊子を配布。	保健所保健予防課	◎
11	精神保健対策事業におけるホームページ上に掲載する相談機関数	125機関	125機関	A	125機関	相談窓口紹介冊子をホームページ上に記載。(冊子内の相談機関数)	保健所保健予防課	◎
12	自殺対策キャンペーンの実施回数	2回	2回	A	2回	9月と3月にコースカ、モアズ入り口前、京急久里浜駅、横須賀中央駅等で開催。相談冊子を配布した	保健所保健予防課	◎
13	こころの病気に視点をのいた健康づくり教室の実施回数	3回	3回	A	3回	ギャンブル依存、ゲーム障害(依存症)、職場復帰に向けたラインケア等をテーマに3回実施。	保健所保健予防課	◎
14	精神保健対策事業における講演会・研修会及び地域からの依頼による教室の実施回数	1回	2回	A	1回	6年度は①北久里浜まちづくり協議会「こころの病について」②米軍基地「職場・家庭のメンタルケア」と2回実施。7年度についても依頼があれば随時実施予定。	保健所保健予防課	◎
15	コミュニティセンターにおける各種講座の実施数	44講座	44講座	A	-	今後も継続して、関連する講座の実施を目指す	地域コミュニティ支援課	○

③ 休養・睡眠

No	KPI (重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度 目標	令和6年度 実績	評価	令和7年度 目標	担当課コメント	担当部署	休養・ 睡眠
16	集団健康教育の参加率	60%	18.7%	D	60%	実施方法を変更し、定員を増やしたため定員に対する参加率が減少した。参加状況を鑑み、回数を6回から4回に、定員を50人から30人に変更して開催予定。また、申込者に対し、当日欠席となる市民が多い(約半分が当日不参加)ため、申込期間を短縮し忘れにくくし、またリマインドメールが届く方法での申込も導入している。	健康増進課	○
17	健康教育に関する講演会の参加率	65%	67%	A	70%	健康づくり講演会および働きざかり講演会を開催。健康づくり講演会はラジオ体操をテーマに行い、ラジオ体操活動支援団からの参加も多かった。働きざかり講演会は会場とZOOMで開催した。会場参加のみでなく、ZOOMからの参加者も多く働きざかり世代(40歳から64歳)のZOOM参加が多かった。	健康増進課	○
18	地域、職域連携による健康教育の実施数	15回	15回	A	15回	依頼に応じた内容を実施した。 引き続き働きざかり世代への働きかけを行っていく。	健康増進課	◎
19	一般健康相談の満足度	80%	94%	A	90%	17名の参加があり、満足度は高かった。引き続き実施していく。	健康増進課	○
20	後期高齢者を対象にした保健事業で日常生活圏域の事業実施(圏域数)	10圏域	10圏域	A	10圏域	市内10圏域全域で実施することができた。引き続き市内全域で実施していく。	健康増進課	○
21	後期高齢者を対象にしたフレイル予防の普及啓発で日常生活圏域の事業実施(団体数)	10団体	10団体	A	13団体	令和6年度は、地域包括支援センターの協力のもと、実施団体を10圏域より選出した。令和7年度より実施団体数を増加させるため、市内全域から、団体を選出し、実施していく。	健康増進課	○
22	介護予防に関する知識の普及のための教室等の教室参加者数(栄養・運動)	400人	294人	B	400人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。実施会場の見直しをし、実施していく。	健康増進課	○
23	介護予防サポーター、フレイルサポーター養成数(介護予防・フレイル)	110人	65人	D	100人	委託部分の集客が困難だったためR7度より直営のみの2会場開催にし、講座の内容も見直す。	健康増進課	○
24	地域型介護予防教室(委託)回数	240回	177回	B	240回	令和7年度は、地域の実情に合わせた教室の実施ができるよう、方法を見直し実施している。	健康増進課	○

健康推進プランよこすか事業計画一覧

◎…主な取り組み事業
○…関連する事業

④ 飲酒

No	KPI (重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度 目標	令和6年度 実績	評価	令和7年度 目標	担当課コメント	担当部署	飲酒
1	がん検診初診者数	25,000人	25,084人	A	25,000人	目標値に向け、引き続き継続していく	健康管理支援課	○
2	特定保健指導実施率	15.0%	実績は10月以 降に確定		16.0%	0%(令和7年2月時点の速報値) 前年同時期と同レベル。実績は今後伸びてくる見込み。	健康管理支援課	○
3	特定健康診査の結果、血圧のリスクがある方へ 重症化を予防する支援を実施率	38.5%	21.5%	D	38.5%	血糖の受診率は目標値を達成。血圧・脂質の受診率は、目標未 達成となっている。引き続き効果的な方法を模索しながら対応 していく。	健康増進課	○
4	特定健康診査の結果、血糖のリスクがある方へ 重症化を予防する支援を実施率	38.5%	47.4%	A	38.5%		健康増進課	○
5	特定健康診査の結果、脂質のリスクがある方へ 重症化を予防する支援を実施率	38.5%	30.0%	B	38.5%		健康増進課	○
6	特定健康診査の結果、腎臓のリスクがある方へ 重症化を予防する支援を実施率	51.5%	実績は8月以降 に確定		51.7%	腎臓専門医、医師会等と検討し、R7年度より照会基準等変更予 定。	健康管理支援課	○
7	妊娠期からの各種教室の実施回数	64回	63回	A	64回	概ね計画とおりに開催できました。 教室の周知に努め引き続き実施します。	地域健康課	◎
8	母子健康手帳交付時の面接率	100%	100%	A	100%	母子健康手帳交付時アンケートを実施し支援をしています。 引き続き面接を実施します。	地域健康課	○
9	青少年相談事業における巡回指導での年間指 導助言件数	326件	218件	C	302件	できる限り若者に声をかけ、「指導」や「助言」に関わらず、地域 情報を考慮しながら地域の巡回を行う。	こども家庭支援課	◎
10	非行防止講座実施回数	-	0回	-	-	令和6年度は講座の実施依頼がなかったため、周知方法等を検 討する必要がある。	こども家庭支援課	◎
11	青少年健全育成協力店累計数	283店	283店	A	-	廃業する店舗が増加していること及び新規登録がなかったため 減少した。情報発信や講座などの取り組みを総合的に検討する 必要がある。	こども家庭支援課	○
12	外部講師を活用したがん教育開催回数	小学校1校 中学校1校	市立小学校2校 市立中学校2校	A	市立小学校1校 市立中学校1校	本事業については、小学校1校、中学校1校を市の公開授業とし て行い、教育効果を高める指導法について協議を行った。来年 度もすそ野が広がるよう取り組む。	保健体育課	◎
13	薬物乱用防止(啓発)教室の開催回数	小学校34校 中学校12校 合計46校 (69校中)	小学校34校 中学校12校 合計46校 (69校中)	A	-	専門的な外部講師を活用することで、教育効果の高い学習を行 うことができた。来年度も継続して取り組んでいく。	保健体育課	◎

④ 飲酒

No	KPI (重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度 目標	令和6年度 実績	評価	令和7年度 目標	担当課コメント	担当部署	飲酒
14	精神保健対策事業における講演会・研修会及び地域からの依頼による教室の実施回数	1回	2回	A	1回	6年度は①北久里浜まちづくり協議会「こころの病について」②米軍基地「職場・家庭のメンタルケア」と2回実施。7年度についても依頼があれば随時実施予定。	保健所保健予防課	○
15	集団健康教育の参加率	60%	18.7%	D	60%	実施方法を変更し、定員を増やしたため定員に対する参加率が減少した。参加状況を鑑み、回数を6回から4回に、定員を50人から30人に変更して開催予定。また、申込者に対し、当日欠席となる市民が多い(約半分が当日不参加)ため、申込期間を短縮し忘れにくくし、またリマインドメールが届く方法での申込も導入している。	健康増進課	◎
16	健康教育に関する講演会の参加率	65%	67%	A	70%	健康づくり講演会および働きざかり講演会を開催。健康づくり講演会はラジオ体操をテーマに行い、ラジオ体操活動支援団からの参加も多かった。働きざかり講演会は会場とZOOMで開催した。会場参加のみでなく、ZOOMからの参加者も多く働きざかり世代(40歳から64歳)のZOOM参加が多かった。	健康増進課	○
17	地域、職域連携による健康教育の実施数	15回	15回	A	15回	依頼に応じた内容を実施した。引き続き働きざかり世代への働きかけを行っていく。	健康増進課	○
18	ヘルスマイト委託事業参加者数	230人	264人	A	280人	実績値の根拠は、保育園での講話(205名)、講話と調理実習(59名)	健康増進課	○
19	一般健康相談の満足度	80%	94%	A	90%	17名の参加があり、満足度は高かった。引き続き実施していく。	健康増進課	○
20	後期高齢者を対象にした保健事業で日常生活圏域の事業実施(圏域数)	10圏域	10圏域	A	10圏域	市内10圏域全域で実施することができた。引き続き市内全域で実施していく。	健康増進課	○
21	後期高齢者を対象にしたフレイル予防の普及啓発で日常生活圏域の事業実施(団体数)	10団体	10団体	A	13団体	令和6年度は、地域包括支援センターの協力のもと、実施団体を10圏域より選出した。令和7年度より実施団体数を増加させるため、市内全域から、団体を選出し、実施していく。	健康増進課	○
22	介護予防に関する知識の普及のための教室等の教室参加者数(栄養・運動)	400人	294人	B	400人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。実施会場の見直しをし、実施していく。	健康増進課	○

健康推進プランよこすか事業計画一覧

◎・・・主な取り組み事業

○・・・関連する事業

⑤ 喫煙・COPD

No	KPI (重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度 目標	令和6年度 実績	評価	令和7年度 目標	担当課コメント	担当部署	喫煙・慢性 閉塞性肺 疾患 (COPD)
1	歯周病検診受診率	11.8%	11.1%	A	12.1%	受診率は概ね達成できました。引き続き実施していきます。今後はSNS等を利用し、検診の重要性をお伝えし受診率アップを目指します。	健康管理支援課	○
2	妊婦歯科検診受診率	30.2%	28.6%	A	32.0%	目標は達成できませんでした。今後はSNS等を利用し、検診の重要性をお伝えし受診率アップを目指します。	健康管理支援課	○
3	がん検診初診者数	25,000人	25,084人	A	25,000人	目標値に向け、引き続き継続していく	健康管理支援課	○
4	特定保健指導実施率	15.0%	実績は10月以 降に確定		16.0%	0%(令和7年2月時点の速報値) 前年同時期と同レベル。実績は今後伸びてくる見込み。	健康管理支援課	○
5	特定健康診査の結果、血圧のリスクがある方 へ重症化を予防する支援を実施率	38.5%	21.5%	D	38.5%	血糖の受診率は目標値を達成。血圧・脂質の受診率は、目標未達成とな っている。引き続き効果的な方法を模索しながら対応していく。	健康増進課	○
6	特定健康診査の結果、血糖のリスクがある方 へ重症化を予防する支援を実施率	38.5%	47.4%	A	38.5%		健康増進課	○
7	特定健康診査の結果、脂質のリスクがある方 へ重症化を予防する支援を実施率	38.5%	30.0%	B	38.5%		健康増進課	○
8	特定健康診査の結果、腎臓のリスクがある方 へ重症化を予防する支援を実施率	51.5%	実績は8月以降 に確定		51.7%	腎臓専門医、医師会等と検討し、R7年度より照会基準等変更予定。	健康管理支援課	○
9	妊娠期からの各種教室の実施回数	64回	63回	A	64回	概ね計画とおりに開催できました。 教室の周知に努め引き続き実施します。	地域健康課	◎
10	母子健康手帳交付時の面接率	100%	100%	A	100%	母子健康手帳交付時アンケートを実施し支援をしています。引き続き 面接を実施します。	地域健康課	○
11	子育て期の各種教室の実施回数	254回	275回	A	241回	予約者なしで実施に至らなかったものもありますが、随時教室の周知 に努めました。引き続き実施します。	地域健康課	○
12	地域からの依頼による健康教育の実施回数	44回	44回	A	-	地域からの依頼により、子育て支援教室を実施しました。地域の要望 に合わせ引き続き実施します。	地域健康課	○
13	青少年相談事業における巡回指導での年間 指導助言件数	326件	218件	C	302件	できる限り若者に声をかけ、「指導」や「助言」に関わらず、地域情報を 考慮しながら地域の巡回を行う。	こども家庭支援課	◎
14	非行防止講座実施回数	-	0回	-	-	令和6年度は講座の実施依頼がなかったため、周知方法等を検討す る必要がある。	こども家庭支援課	◎
15	青少年健全育成協力店累計数	283店	283店	A	-	廃業する店舗が増加していること及び新規登録がなかったため減少 した。情報発信や講座などの取り組みを総合的に検討する必要がある。	こども家庭支援課	○

⑤ 喫煙・COPD

No	KPI (重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度 目標	令和6年度 実績	評価	令和7年度 目標	担当課コメント	担当部署	喫煙・慢性 閉塞性肺 疾患 (COPD)
16	外部講師を活用したがん教育開催回数	小学校1校 中学校1校	市立小学校2校 市立中学校2校	A	市立小学校1校 市立中学校1校	本事業については、小学校1校、中学校1校を市の公開授業として行い、教育効果を高める指導法について協議を行った。来年度もすそ野が広がるよう取り組む。	保健体育課	◎
17	薬物乱用防止(啓発)教室の開催回数	小学校34校 中学校12校 合計46校 (69校中)	小学校34校 中学校12校 合計46校 (69校中)	A	-	専門的な外部講師を活用することで、教育効果の高い学習を行うことができた。来年度も継続して取り組んでいく。	保健体育課	◎
18	小学校での歯科巡回教室の開催回数	市立学校全クラス実施	市立学校全クラス実施	A	市立学校全クラス実施	本事業について、小学校の全クラスで行うことで、毎年度自分の歯について考える機会があることは、健康増進の観点においても有効である。来年度も継続して取り組んでいく。	保健体育課	◎
19	集団健康教育の参加率	60%	18.7%	D	60%	実施方法を変更し、定員を増やしたため定員に対する参加率が減少した。参加状況を鑑み、回数を6回から4回に、定員を50人から30人に変更して開催予定。また、申込者に対し、当日欠席となる市民が多い(約半分が当日不参加)ため、申込期間を短縮し忘れにくくし、またリマインドメールが届く方法での申込も導入している。	健康増進課	◎
20	健康教育に関する講演会の参加率	65%	67%	A	70%	健康づくり講演会および働きざかり講演会を開催。健康づくり講演会はラジオ体操をテーマに行い、ラジオ体操活動支援団からの参加も多かった。働きざかり講演会は会場とZOOMで開催した。会場参加のみでなく、ZOOMからの参加者も多く働きざかり世代(40歳から64歳)のZOOM参加が多かった。	健康増進課	○
21	喫煙防止教室の実施	1校	2校	A	2校	2校に対し、喫煙防止教室を実施した。アンケート結果より、喫煙のリスクへの理解が深まっていることも確認ができた。引き続き依頼に応じて実施していく。	健康増進課	◎
22	地域、職域連携による健康教育の実施数	15回	15回	A	15回	依頼に応じた内容を実施した。引き続き働きざかり世代への働きかけを行っていく。	健康増進課	○
23	一般健康相談の満足度	80%	94%	A	90%	17名の参加があり、満足度は高かった。引き続き実施していく。	健康増進課	○
24	後期高齢者を対象にした保健事業で日常生活圏域の事業実施(圏域数)	10圏域	10圏域	A	10圏域	市内10圏域全域で実施することができた。引き続き市内全域で実施していく。	健康増進課	○
25	後期高齢者を対象にしたフレイル予防の普及啓発で日常生活圏域の事業実施(団体数)	10団体	10団体	A	13団体	令和6年度は、地域包括支援センターの協力のもと、実施団体を10圏域より選出した。令和7年度より実施団体数を増加させるため、市内全域から、団体を選出し、実施していく。	健康増進課	○
26	介護予防に関する知識の普及のための教室等の教室参加者数(栄養・運動)	400人	294人	B	400人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。実施会場の見直しをし、実施していく。	健康増進課	○

健康推進プランよこすか事業計画一覧

◎・・・主な取り組み事業
○・・・関連する事業

⑥ 歯・口腔の健康

No	KPI (重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度 目標	令和6年度 実績	評価	令和7年度 目標	担当課コメント	担当部署	歯・口腔 の健康
1	集団フッ化物洗口講習会参加園数	24園	24園	A	25園	園長会や歯みがき教室実施時に講演会やフッ化物洗口事業について周知を図りました。歯科医師会と連絡会においても参加を依頼し、引き続き目標達成に向け取り組みます。	地域健康課	◎
2	歯周病検診受診率	11.8%	11.1%	A	12.1%	受診率は概ね達成できました。引き続き実施していきます。今後はSNS等を利用し、検診の重要性をお伝えし受診率アップを目指します。	健康管理支援課	◎
3	妊婦歯科検診受診率	30.2%	28.6%	A	32.0%	目標は達成できませんでした。今後はSNS等を利用し、検診の重要性をお伝えし受診率アップを目指します。	健康管理支援課	◎
4	2歳6カ月児の歯科健康診査受診率	52.9%	42.7%	B	52.9%	目標を達成できるように引き続き実施していきます。	健康管理支援課	◎
5	乳幼児歯科健康教室実施回数	24回	24回	A	24回	計画を達成することができました。引き続き実施します。	地域健康課	◎
6	歯みがき教室実施希望園の実施率	100%	100%	A	100%	計画を達成することができました。令和6年度は68園でむし歯予防等についての講話・歯みがきの実技指導を実施しました。引き続き実施します。	地域健康課	◎
7	小学校歯科巡回教室の実施率	100%	100%	A	100%	市立小学校46校、ろう学校、養護学校において歯みがき教室を実施し、計画を達成することができました。令和6年度からは歯みがきの実技指導も再開され、より充実した保健指導が行えるようになりました。今後も、各学年に応じた内容やPCを活用した工夫をしながら、引き続き歯みがき教室を実施してまいります。	健康増進課	◎
8	オーラルフレイル予防教室参加者数	360人	271人	B	360人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を超えることができた。実施会場の見直しや周知方法を工夫し引き続き計画達成に向け取り組む。	健康増進課	◎
9	ミニオーラルフレイル教室参加者のオーラルフレイル認知度 (65歳以上)	38.80%	55.30%	A	56.40%	目標を達成することができた。若い世代から関心がもてるよう、引き続き普及啓発をおこなっていく。	健康増進課	◎
10	スカリン相談会オンライン相談会実施回数	24回	15回	C	12回	オンライン育児相談の参加者が目標より少なかった。令和7年度より、オンライン育児相談会は随時相談に変更した。	地域健康課	◎
11	妊娠期から子育て期における乳幼児健診、相談、訪問の実施率	100%	100%	A	100%	乳幼児健診時から保護者に寄り添った子育て支援をし、必要に応じて訪問等で継続支援しました。引き続き、切れ目ない支援を実施します。	地域健康課	○
12	妊娠期からの各種教室の実施回数	64回	63回	A	64回	概ね計画とおりに開催できました。教室の周知に努め引き続き実施します。	地域健康課	○
13	子育て期の各種教室の実施回数	254回	275回	A	241回	予約者なしで実施に至らなかったものもありますが、随時教室の周知に努めました。引き続き実施します。	地域健康課	○
14	地域からの依頼による健康教育の実施回数	44回	44回	A	-	地域からの依頼により、子育て支援教室を実施しました。地域の要望に合わせ引き続き実施します。	地域健康課	○

⑥ 歯・口腔の健康

No	KPI（重要業績評価指数） 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度 目標	令和6年度 実績	評価	令和7年度 目標	担当課コメント	担当部署	歯・口腔 の健康
15	公立保育園で毎日の給食時に保育士等による食指導および共食の実施園数	8園	8園	A	8園	引き続き実施します	子育て支援課	○
16	公立保育園での健診の実施回数	各園 0～2歳隔月 3～5歳児3回	各園 0～2歳隔月 3～5歳児3回	A	各園 0～2歳児隔月 3～5歳児3回	引き続き実施します	子育て支援課	○
17	小学校での歯科巡回教室の開催回数	市立学校全クラス実施	市立学校全クラス実施	A	市立学校全クラス実施	本事業について、小学校の全クラスで行うことで、毎年度自分の歯について考える機会があることは、健康増進の観点においても有効である。来年度も継続して取り組んでいく。	保健体育課	◎
18	コミュニティセンターにおける各種講座の実施数	44講座	44講座	A	-	今後も継続して、関連する講座の実施を目指す	地域コミュニティ支援課	○
19	喫煙防止教室の実施	1校	2校	A	2校	2校に対し、喫煙防止教室を実施した。アンケート結果より、喫煙のリスクへの理解が深まっていることも確認ができた。引き続き依頼に応じて実施していく。	健康増進課	○
20	地域、職域連携による健康教育の実施数	15回	15回	A	15回	依頼に応じた内容を実施した。引き続き働きざかり世代への働きかけを行っていく。	健康増進課	○
21	一般健康相談の満足度	80%	94%	A	90%	17名の参加があり、満足度は高かった。引き続き実施していく。	健康増進課	○
22	後期高齢者を対象にした保健事業で日常生活圏域の事業実施(圏域数)	10圏域	10圏域	A	10圏域	市内10圏域全域で実施することができた。引き続き市内全域で実施していく。	健康増進課	○
23	後期高齢者を対象にしたフレイル予防の普及啓発で日常生活圏域の事業実施(団体数)	10団体	10団体	A	13団体	令和6年度は、地域包括支援センターの協力のもと、実施団体を10圏域より選出した。令和7年度より実施団体数を増加させるため、市内全域から、団体を選出し、実施していく。	健康増進課	○
24	介護予防に関する知識の普及のための教室等の教室参加者数(栄養・運動)	400人	294人	B	400人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。実施会場の見直しをし、実施していく。	健康増進課	○

健康推進プランよこすか事業計画一覧

◎…主な取り組み事業
○…関連する事業

⑦ がん

No	KPI (重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度 目標	令和6年度 実績	評価	令和7年度 目標	担当課コメント	担当部署	がん
1	がん検診初診者数	25,000人	25,084人	A	25,000人	目標値に向け、引き続き継続していく	健康管理支援課	◎
2	がん検診無料クーポン券の発送件数	13,750件	13,346件	A	12,500件	効果的な勧奨の実施を行っていく	健康管理支援課	◎
3	がんの精密検査未受診勧奨実施件数	1,150件	1,398件	A	1,150件	未受診者が少しでも減るよう対策をたてていく	健康管理支援課	◎
4	市のホームページ等に検診実施医療機関情報 (日曜診療等)の掲載医療機関件数	137件	151件	A	150件	引き続き医療機関と情報共有を行いながら実施していく	健康管理支援課	◎
5	中学2年生を対象としたピロリ菌検査及び除 菌治療の一次検査受験率	90%	86.30%	A	90%	市立中学校生徒は学校検尿の検体を使うことになり受験率が向上した	健康管理支援課	○
6	市民健診講演会実施回数	1回	1回	A	1回	引き続き、より良い方法での実施を模索していく	健康管理支援課	○
7	健診センターの休日健診実施回数	3回	3回	A	3回	引き続き継続していく	健康管理支援課	○
8	健診センターにおける生活習慣病の予防と改 善を目的とした結果説明会実施回数	11回	11回	A	11回	引き続き継続していく	健康管理支援課	○
9	集団健康教育の参加率	60%	18.7%	D	60%	実施方法を変更し、定員を増やしたため定員に対する参加率が減少した。 参加状況を鑑み、回数を6回から4回に、定員を50人から30人に変更して開催 予定。また、申込者に対し、当日欠席となる市民が多い(約半分が当日不参加)た め、申込期間を短縮し忘れにくくし、またリマインドメールが届く方法での申込み 導入している。	健康増進課	○
10	健康教育に関する講演会の参加率	65%	67%	A	70%	健康づくり講演会および働きざかり講演会を開催。健康づくり講演会はラジオ体 操をテーマに行い、ラジオ体操活動支援団からの参加も多かった。働きざかり講 演会は会場とZOOMで開催した。会場参加のみでなく、ZOOMからの参加者も 多く働きざかり世代(40歳から64歳)のZOOM参加が多かった。	健康増進課	○
11	喫煙防止教室の実施	1校	2校	A	2校	2校に対し、喫煙防止教室を実施した。アンケート結果より、喫煙のリスクへの理 解が深まっていることも確認ができた。引き続き依頼に応じて実施していく。	健康増進課	○
12	地域、職域連携による健康教育の実施数	15回	15回	A	15回	依頼に応じた内容を実施した。 引き続き働きざかり世代への働きかけを行っていく。	健康増進課	○
13	後期高齢者を対象にしたフレイル予防の普及 啓発で日常生活圏域の事業実施(団体数)	10団体	10団体	A	13団体	令和6年度は、地域包括支援センターの協力のもと、実施団体を10圏域より選出 した。令和7年度より実施団体数を増加させるため、市内全域から、団体を選出し、 実施していく。	健康増進課	○
14	介護予防に関する知識の普及のための教室等 の教室参加者数(栄養・運動)	400人	294人	B	400人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。実施会場の見 直しをし、実施していく。	健康増進課	○

⑧ 循環器病・糖尿病

No	KPI（重要業績評価指数） 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度 目標	令和6年度 実績	評価	令和7年度 目標	担当課コメント	担当部署	循環器病・ 糖尿病
1	歯周病検診受診率	11.8%	11.1%	A	12.1%	受診率は概ね達成できました。引き続き実施していきます。今後はSNS等を利用し、検診の重要性をお伝えし受診率アップを目指します。	健康管理支援課	○
2	妊婦歯科検診受診率	30.2%	28.6%	A	32.0%	目標は達成できませんでした。今後はSNS等を利用し、検診の重要性をお伝えし受診率アップを目指します。	健康管理支援課	○
3	後期高齢者健康診査受診率	25%	23.60%	A	25%	受診率が向上するよう対策をしていく	健康管理支援課	◎
4	医療保険非該当者の保健指導実施人数	10人	11人	A	10人	登録後初めて実施する医療機関が増えた。引き続き継続していく	健康管理支援課	○
5	後期高齢者健康診受診勧奨通知の発送数	73,000通	71,685通	A	73,000通	効果的な勧奨の実施を行っていく	健康管理支援課	◎
6	市のホームページ等に健診実施医療機関情報 (日曜診療等)の掲載医療機関件数	137件	151件	A	150件	引き続き医療機関と情報共有を行いながら実施していく	健康管理支援課	◎
7	健診センター特定健診受診者数 (40歳～74歳の国民健康保険・社会保険の被 保険者)	3,268人	3,069人	A	2,669人	目標値に向け引き続き継続していく	健康管理支援課	◎
8	健診センターの休日健診実施回数	3回	3回	A	3回	引き続き継続していく	健康管理支援課	◎
9	健診センターにおける生活習慣病の予防と改 善を目的とした結果説明会実施回数	11回	11回	A	11回	引き続き継続していく	健康管理支援課	○
10	毎月市のホームページに健診実施医療機関情 報を掲載	11回	11回	A	11回	引き続き掲載内容を適宜更新、確認していく	健康管理支援課	◎
11	生活習慣病の特定健診受診率 (国民健康保険加入の40～74歳が対象)	33.0%	実績は10月以降 に確定		34.0%	20.1%(令和7年2月時点の速報値) 前年同時期と比較すると2.3ポイント伸びている	健康管理支援課	◎
12	特定保健指導実施率	15.0%	実績は10月以降 に確定		16.0%	0%(令和7年2月時点の速報値) 前年同時期と同レベル。実績は今後伸びてくる見込み。	健康管理支援課	○
13	特定健康診査の結果、血圧のリスクがある方へ 重症化を予防する支援を実施率	38.5%	21.5%	D	38.5%	血糖の受診率は目標値を達成。血圧・脂質の受診率は、目標未達成とな っている。引き続き効果的な方法を模索しながら対応していく。	健康増進課	○
14	特定健康診査の結果、血糖のリスクがある方へ 重症化を予防する支援を実施率	38.5%	47.4%	A	38.5%		健康増進課	○
15	特定健康診査の結果、脂質のリスクがある方へ 重症化を予防する支援を実施率	38.5%	30.0%	B	38.5%		健康増進課	○
16	特定健康診査の結果、腎臓のリスクがある方へ 重症化を予防する支援を実施率	51.5%	実績は8月以降 に確定		51.7%	腎臓専門医、医師会等と検討し、R7年度より照会基準等変更予定。	健康管理支援課	○

⑧ 循環器病・糖尿病

No	KPI (重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度 目標	令和6年度 実績	評価	令和7年度 目標	担当課コメント	担当部署	循環器病・ 糖尿病
17	集団健康教育の参加率	60%	18.7%	D	60%	実施方法を変更し、定員を増やしたため定員に対する参加率が減少した。 参加状況を鑑み、回数を6回から4回に、定員を50人から30人に変更して開催予定。また、申込者に対し、当日欠席となる市民が多い(約半分が当日不参加)ため、申込期間を短縮し忘れにくくし、またリマインドメールが届く方法での申込も導入している。	健康増進課	○
18	健康教育に関する講演会の参加率	65%	67%	A	70%	健康づくり講演会および働きざかり講演会を開催。健康づくり講演会はラジオ体操をテーマに行い、ラジオ体操活動支援団からの参加も多かった。働きざかり講演会は会場とZOOMで開催した。会場参加のみでなく、ZOOMからの参加者も多く働きざかり世代(40歳から64歳)のZOOM参加が多かった。	健康増進課	○
19	喫煙防止教室の実施	1校	2校	A	2校	2校に対し、喫煙防止教室を実施した。アンケート結果より、喫煙のリスクへの理解が深まっていることも確認ができた。引き続き依頼に応じて実施していく。	健康増進課	○
20	地域、職域連携による健康教育の実施数	15回	15回	A	15回	依頼に応じた内容を実施した。 引き続き働きざかり世代への働きかけを行っていく。	健康増進課	○
21	ヘルスマイト委託事業参加者数	230人	264人	A	280人	実績値の根拠は、保育園での講話(205名)、講話と調理実習(59名)	健康増進課	○
22	食育推進キャンペーンの参加者数	1,400人	3,767人	A	-	健康フェスタの総数を計上。食育ブースとしては1040名。	健康増進課	○
23	巡回指導を行った給食施設数	60施設	50施設	B	54施設	目標達成には至らなかったものの、コロナ禍以前と同様に巡回指導が再開できた。また、事業所にも巡回指導を実施することができた。	健康増進課	○
24	特定給食施設講演会参加施設数	67施設	77施設	A	77施設	ハイブリット形式で実施。半数以上がオンラインでの参加。今後もハイブリット形式で実施していく。	健康増進課	○
25	一般健康相談の満足度	80%	94%	A	90%	17名の参加があり、満足度は高かった。引き続き実施していく。	健康増進課	○
26	後期高齢者を対象にした保健事業で日常生活圏域の事業実施(圏域数)	10圏域	10圏域	A	10圏域	市内10圏域全域で実施することができた。 引き続き市内全域で実施していく。	健康増進課	○
27	後期高齢者を対象にしたフレイル予防の普及啓発で日常生活圏域の事業実施(団体数)	10団体	10団体	A	13団体	令和6年度は、地域包括支援センターの協力のもと、実施団体を10圏域より選出した。令和7年度より実施団体数を増加させるため、市内全域から、団体を選出し、実施していく。	健康増進課	○
28	介護予防に関する知識の普及のための教室等の教室参加者数(栄養・運動)	400人	294人	B	400人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。実施会場の見直しをし、実施していく。	健康増進課	○

⑨ 食育の推進

No	KPI (重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度 目標	令和6年度 実績	評価	令和7年度 目標	担当課コメント	担当部署	食育の 推進
1	妊娠期から子育て期における乳幼児健診、相談、訪問の実施率	100%	100%	A	100%	乳幼児健診時から保護者に寄り添った子育て支援をし、必要に応じて訪問等で継続支援しました。引き続き、切れ目ない支援を実施します。	地域健康課	○
2	妊娠期からの各種教室の実施回数	64回	63回	A	64回	概ね計画とおりに開催できました。教室の周知に努め引き続き実施します。	地域健康課	○
3	子育て期の各種教室の実施回数	254回	275回	A	241回	予約者なしで実施に至らなかったものもありますが、随時教室の周知に努めました。引き続き実施します。	地域健康課	○
4	地域からの依頼による健康教育の実施回数	44回	44回	A	-	地域からの依頼により、子育て支援教室を実施しました。地域の要望に合わせ引き続き実施します。	地域健康課	○
5	生後4カ月までの乳児の養育環境の把握率	100%	100%	A	100%	新生児・乳児家庭訪問を行い、訪問ができなかった家庭については面接等を実施し、全数把握に努めました。引き続き実施します。	地域健康課	○
6	公立保育園での食育パフォーマンの実施回数	16回	12回	B	16回	保育所等の給食で提供される出汁(鰹節、昆布、煮干し等)の試飲や食器の正しい置き方等マナーも含む五感を使った参加型の講義を引き続き実施します	子育て支援課	◎
7	市内保育園等98施設に食事のおたよりの配布回数	12回	12回	A	12回	食事の大切さの啓発として引き続き実施します	子育て支援課	○
8	公立保育園にて食育講話の実施回数	96回	96回	A	96回	食事の大切さの啓発として引き続き実施します	子育て支援課	○
9	公立保育園で毎日の給食時に保育士等による食指導および共食の実施園数	8園	8園	A	8園	引き続き実施します	子育て支援課	○
10	公立保育園で園内菜園の実施園数	8園	8園	A	8園	今後も実施し園児が野菜等に興味を持つよう促します	子育て支援課	◎
11	学校食育研修講座の参加率	95%	98%	A	95%	学校におけるアレルギー疾患への対応をテーマに実施しました。令和7年度は、学校における食に関する指導をテーマに行います。受講者の糧となるよう、計画立案していきます。	学校食育課	◎
12	小・中・特別支援学校での給食だより等の配布率	100%	100%	A	17回	令和7年6月からマチコミメールでの配信に切り替わったため、7年度から評価指標を「小・中・ろう学校への献立表とセンター通信発信回数」に、目標も「17回」に変更します。また、4月からオープンデータはBODIK ODCS(オープンデータカタログサイト)への掲載へと変更しています。	学校食育課	◎
13	「食に関する指導の全体計画」の実行	100%	100%	A	100%		学校食育課	○
14	「給食時間マニュアル」に基づいた給食指導の実践学校数	71校	71校	A	69校	令和7年4月から統廃合により小学校数が2校減るため、目標数を変更します。	学校食育課	◎
15	関連各教科における食に関する指導(栄養教諭等の活用も含め)の実践学校数	71校	71校	A	69校		学校食育課	◎
16	給食センターにおける食育講座の実施回数	20回	17回	B	20回	申込希望数が18回で、申込元事由により開催中止が1回あり、17回実施となりました。周知方法を検討しつつ、令和7年度も実施していきます。	学校食育課	◎
17	食のセミナーおよび食品衛生講習会開催数	食のセミナー1回 食品衛生講習会3回	食のセミナー1回 食品衛生講習会3回	A	食のセミナー1回 食品衛生講習会 要望に応じて	引き続き実施する予定です	保健所生活衛生課	◎
18	子どもごみ教室(小・中・高校生対象)及びごみトーク(出前トーク、町内会等対象)の実施回数	5回	9回	A	9回	対象を園児まで広げ、主に公立保育園での啓発に力を入れました。	環境政策課	◎
19	食品ロス削減のポスター等の配布数	250枚	250枚	A	-	引き続き出前トーク等での配布を継続します。	環境政策課	◎

⑨ 食育の推進

No	KPI (重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度 目標	令和6年度 実績	評価	令和7年度 目標	担当課コメント	担当部署	食育の 推進
20	コミュニティセンターにおける各種講座の実施数	44講座	44講座	A	-	今後も継続して、関連する講座の実施を目指す	地域コミュニティ支援課	○
21	農業交流促進事業の実施校数(児童対象)	3校	3校	A	3校	計画を達成することができました。引き続き実施します。	農水産振興課	◎
22	食糧支援延べ人数	1,467人	1,467人	A	-	食料を必要としている方に支援することで、食育の推進のうち食品ロスの削減に寄与している。	地域福祉課	◎
23	集団健康教育の参加率	60%	18.7%	D	60%	実施方法を変更し、定員を増やしたため定員に対する参加率が減少した。参加状況を鑑み、回数を6回から4回に、定員を50人から30人に変更して開催予定。また、申込者に対し、当日欠席となる市民が多い(約半分が当日不参加)ため、申込期間を短縮し忘れにくくし、またリマインドメールが届く方法での申込も導入している。	健康増進課	○
24	健康教育に関する講演会の参加率	65%	67%	A	70%	健康づくり講演会および働きざかり講演会を開催。健康づくり講演会はラジオ体操をテーマに行い、ラジオ体操活動支援団からの参加も多かった。働きざかり講演会は会場とZOOMで開催した。会場参加のみでなく、ZOOMからの参加者も多く働きざかり世代(40歳から64歳)のZOOM参加が多かった。	健康増進課	○
25	地域、職域連携による健康教育の実施数	15回	15回	A	15回	依頼に応じた内容を実施した。引き続き働きざかり世代への働きかけを行っていく。	健康増進課	○
26	ヘルスメイト委託事業参加者数	230人	264人	A	280人	実績値の根拠は、保育園での講話(205名)、講話と調理実習(59名)	健康増進課	◎
27	食育に関する教室等の講習会参加率	70%	76%	A	70%	実績値の根拠は、魚のさばき方教室(申込15名、参加14名)、食育推進調理講習(申込40名、参加28名)	健康増進課	◎
28	食育関係団体との連携数	308機関	308機関	A	310機関	実績値の根拠はE表示協力店(298)+新規登録店(2)+ヘルスメイトよこすか、神奈川県立保健福祉大学、商工会議所、JA、食品衛生協会、イオン、キュービー、味の素(8)。今後も広く連携し、累積して目標を達成していく。	健康増進課	○
29	食育推進キャンペーンの参加者数	1,400人	3,767人	A	-	健康フェスタの総数を計上。食育ブースとしては1040名。	健康増進課	◎
30	巡回指導を行った給食施設数	60施設	50施設	B	54施設	目標達成には至らなかったものの、コロナ禍以前と同様に巡回指導が再開できた。また、事業所にも巡回指導を実施することができた。	健康増進課	○
31	特定給食施設講演会参加施設数	67施設	77施設	A	77施設	ハイブリット形式で実施。半数以上がオンラインでの参加。今後もハイブリット形式で実施していく。	健康増進課	○
32	一般健康相談の満足度	80%	94%	A	90%	17名の参加があり、満足度は高かった。引き続き実施していく。	健康増進課	○
33	後期高齢者を対象にした保健事業で日常生活圏域の事業実施(圏域数)	10圏域	10圏域	A	10圏域	市内10圏域全域で実施することができた。引き続き市内全域で実施していく。	健康増進課	○
34	後期高齢者を対象にしたフレイル予防の普及啓発で日常生活圏域の事業実施(団体数)	10団体	10団体	A	13団体	令和6年度は、地域包括支援センターの協力のもと、実施団体を10圏域より選出した。令和7年度より実施団体数を増加させるため、市内全域から、団体を選出し、実施していく。	健康増進課	○
35	介護予防に関する知識の普及のための教室等の教室参加者数(栄養・運動)	400人	294人	B	400人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。実施会場の見直しをし、実施していく。	健康増進課	○
36	介護予防サポーター、フレイルサポーター養成数(介護予防・フレイル)	110人	65人	D	100人	委託部分の集客が困難だったためR7度より直営のみの2会場開催にし、講座の内容も見直す。	健康増進課	○

⑩ 心身の生活機能の維持・向上

No	KPI (重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度 目標	令和6年度 実績	評価	令和7年度 目標	担当課コメント	担当部署	心身の生活機能の 維持・向上
1	骨密度検診受診者数	3,250人	3,184人	A	1,865人	令和7年度より対象者を定め医療機関でも実施できる仕組みを構築した	健康管理支援課	◎
2	外部講師を活用したがん教育開催回数	小学校1校 中学校1校	市立小学校2校 市立中学校2校	A	市立小学校1校 市立中学校1校	本事業については、小学校1校、中学校1校を市の公開授業として行い、教育効果を高める指導法について協議を行った。来年度もすそ野が広がるよう取り組む。	保健体育課	○
3	薬物乱用防止(啓発)教室の開催回数	小学校34校 中学校12校 合計46校 (69校中)	小学校34校 中学校12校 合計46校 (69校中)	A	-	専門的な外部講師を活用することで、教育効果の高い学習を行うことができた。来年度も継続して取り組んでいく。	保健体育課	○
4	小学校での歯科巡回教室の開催回数	市立学校全クラス実施	市立学校全クラス実施	A	市立学校全クラス実施	本事業について、小学校の全クラスで行うことで、毎年度自分の歯について考える機会があることは、健康増進の観点においても有効である。来年度も継続して取り組んでいく。	保健体育課	○
5	職域との連携による健康教育の実施回数	1回	1回	A	1回	鎌倉保健福祉事務所、鎌倉保健福祉三崎センター、労働基準監督署、横須賀市保健所合同で研修会を実施。	保健所保健予防課	○
6	精神保健対策事業における相談することの大切さについてのポスター配布数	2,000枚	2,000枚	A	2,000枚	毎年9月、3月に自殺予防週間、月間に合わせて啓発ポスターを作成し関係機関に配布している。	保健所保健予防課	○
7	精神保健対策事業における相談機関を掲載した冊子・カードの配布数	10,000枚	14,000枚	A	14,000枚	行政機関を中心に、福祉施設、病院、学校等相談冊子を配布。	保健所保健予防課	○
8	精神保健対策事業におけるホームページ上に掲載する相談機関数	125機関	125機関	A	125機関	相談窓口紹介冊子をホームページ上に記載。(冊子内の相談機関数)	保健所保健予防課	○
9	自殺対策キャンペーンの実施回数	2回	2回	A	2回	9月と3月にコースカ、モアーズ入り口前、京急久里浜駅、横須賀中央駅等で開催。相談冊子を配布した	保健所保健予防課	○
10	こころの病気に視点をおいた健康づくり教室の実施回数	3回	3回	A	3回	ギャンブル依存、ゲーム障害(依存症)、職場復帰に向けたラインケア等をテーマに3回実施。	保健所保健予防課	○
11	精神保健対策事業における講演会・研修会及び地域からの依頼による教室の実施回数	1回	2回	A	1回	6年度は①北久里浜まちづくり協議会「こころの病について」②米軍基地「職場・家庭のメンタルケア」と2回実施。7年度についても依頼があれば随時実施予定。	保健所保健予防課	○
12	夏休みのラジオ体操カード配布数	10,520枚	10,520枚	A	10,890枚	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
13	夏休みのラジオ体操精進賞表彰数	9,385枚	9,385枚	A	10,069枚		スポーツ振興課	○
14	学校体育施設の地域住民等への開放実施校数	60校	69校	A	67校	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
15	市民スポーツ教室数	20教室	20教室	A	20教室		スポーツ振興課	○
16	参加率50%以上のスポーツ教室数	20教室	11教室	D	15教室	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○

⑩ 心身の生活機能の維持・向上

No	KPI (重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度 目標	令和6年度 実績	評価	令和7年度 目標	担当課コメント	担当部署	心身の生 活機能の 維持・向 上
17	コミュニティセンターにおける各種講座の実施数	44講座	44講座	A	-	今後も継続して、関連する講座の実施を目指す	地域コミュニティ支援課	○
18	集団健康教育の参加率	60%	18.7%	D	60%	実施方法を変更し、定員を増やしたため定員に対する参加率が減少した。参加状況を鑑み、回数を6回から4回に、定員を50人から30人に変更して開催予定。また、申込者に対し、当日欠席となる市民が多い(約半分が当日不参加)ため、申込期間を短縮し忘れにくくし、またリマインドメールが届く方法での申込も導入している。	健康増進課	○
19	健康教育に関する講演会の参加率	65%	67%	A	70%	健康づくり講演会および働きざかり講演会を開催。健康づくり講演会はラジオ体操をテーマに行い、ラジオ体操活動支援団からの参加も多かった。働きざかり講演会は会場とZOOMで開催した。会場参加のみでなく、ZOOMからの参加者も多く働きざかり世代(40歳から64歳)のZOOM参加が多かった。	健康増進課	○
20	地域、職域連携による健康教育の実施数	15回	15回	A	15回	依頼に応じた内容を実施した。引き続き働きざかり世代への働きかけを行っていく。	健康増進課	○
21	ラジオ体操登録団体数	100団体	83団体	B	100団体	登録団体へは引き続きサポートを行う。	健康増進課	○
22	健康アプリ利用者数	5,000人	6,049人	A	7,000人	昨年度より利用者数の増加を目指す。	健康増進課	○
23	後期高齢者を対象にした保健事業で日常生活圏域の事業実施(圏域数)	10圏域	10圏域	A	10圏域	市内10圏域全域で実施することができた。引き続き市内全域で実施していく。	健康増進課	○
24	後期高齢者を対象にしたフレイル予防の普及啓発で日常生活圏域の事業実施(団体数)	10団体	10団体	A	13団体	令和6年度は、地域包括支援センターの協力のもと、実施団体を10圏域より選出した。令和7年度より実施団体数を増加させるため、市内全域から、団体を選出し、実施していく。	健康増進課	◎
25	介護予防に関する知識の普及のための教室等の教室参加者数(栄養・運動)	400人	294人	B	400人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。実施会場の見直しをし、実施していく。	健康増進課	◎
26	地域型介護予防教室(委託)回数	240回	177回	B	240回	令和7年度は、地域の実情に合わせた教室の実施ができるよう、方法を見直し実施している。	健康増進課	◎
27	地域リハビリテーション活動支援事業における専門職派遣事業の実施団体数	6団体	1団体	D	6団体	事業内容の周知を関係機関にしていく。	健康増進課	○

健康推進プランよこすか事業計画一覧

◎…主な取り組み事業
○…関連する事業

⑪ 社会とのつながりの維持・向上

No	KPI (重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度 目標	令和6年度 実績	評価	令和7年度 目標	担当課コメント	担当部署	社会との つながりの 維持・ 向上
1	精神保健対策事業における講演会・研修会及び地域からの依頼による教室の実施回数	1回	2回	A	1回	6年度は①北久里浜まちづくり協議会「こころの病について」②米軍基地「職場・家庭のメンタルケア」と2回実施。 7年度についても依頼があれば随時実施予定。	保健所保健予防課	○
2	学校へのスポーツ推進委員の派遣人数	20人	45人	A	20人	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
3	スポーツフェスタの来場者数	6,000人	11,300人	A	5,000人	今後も引き続き開催していく。	スポーツ振興課	○
4	夏休みのラジオ体操カード配布数	10,520枚	10,520枚	A	10,890枚	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
5	夏休みのラジオ体操精進賞表彰数	9,385枚	9,385枚	A	10,069枚		スポーツ振興課	○
6	学校体育施設の地域住民等への開放実施校数	60校	69校	A	67校	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
7	市民スポーツ教室数	20教室	20教室	A	20教室	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
8	参加率50%以上のスポーツ教室数	20教室	11教室	D	15教室		スポーツ振興課	○
9	コミュニティセンターにおける各種講座の実施数	44講座	44講座	A	-	今後も継続して、関連する講座の実施を目指す	地域コミュニティ支援課	○
10	市民大学年間講座実施総数	72講座	72講座	A	-	実績欄には、特に健康増進に関する内容の講座のみを記載したが、他の講座でも多くの受講者があり、社会とのつながりの維持・向上に資する場を提供している。	生涯学習課	○
11	集団健康教育の参加率	60%	18.7%	D	60%	実施方法を変更し、定員を増やしたため定員に対する参加率が減少した。参加状況を鑑み、回数を6回から4回に、定員を50人から30人に変更して開催予定。また、申込者に対し、当日欠席となる市民が多い(約半分が当日不参加)ため、申込期間を短縮し忘れにくくし、またリマインドメールが届く方法での申込も導入している。	健康増進課	○
12	地域、職域連携による健康教育の実施数	15回	15回	A	15回	依頼に応じた内容を実施した。 引き続き働きざかり世代への働きかけを行っていく。	健康増進課	○
13	ラジオ体操登録団体数	100団体	83団体	B	100団体	登録団体へは引き続きサポートを行う。	健康増進課	◎
14	ヘルスマイト会員数	45人	42人	A	45人	会員数は目標に届かなかったが、養成講座に参加した市民全員が会員になった。令和7年度は養成講座参加者の人数を増加させるために引き続き周知等に力を入れたい。	健康増進課	◎
15	ヘルスマイト委託事業参加者数	230人	264人	A	280人	実績値の根拠は、保育園での講話(205名)、講話と調理実習(59名)	健康増進課	○

⑪ 社会とのつながりの維持・向上

No	KPI (重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度 目標	令和6年度 実績	評価	令和7年度 目標	担当課コメント	担当部署	社会との つながり の維持・ 向上
16	食育関係団体との連携数	308機関	308機関	A	310機関	実績値の根拠はE表示協力店(298)+新規登録店(2)+ヘルスメイトよこすか、神奈川県立保健福祉大学、商工会議所、JA、食品衛生協会、イオン、キュービー、味の素(8)。今後も広く連携し、累積して目標を達成していく。	健康増進課	○
17	後期高齢者を対象にしたフレイル予防の普及啓発で日常生活圏域の事業実施(団体数)	10団体	10団体	A	13団体	令和6年度は、地域包括支援センターの協力のもと、実施団体を10圏域より選出した。令和7年度より実施団体数を増加させるため、市内全域から、団体を選出し、実施していく。	健康増進課	○
18	介護予防に関する知識の普及のための教室等の教室参加者数(栄養・運動)	400人	294人	B	400人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。実施会場の見直しをし、実施していく。	健康増進課	○
19	介護予防サポーター、フレイルサポーター養成数(介護予防・フレイル)	110人	65人	D	100人	委託部分の集客が困難だったためR7度より直営のみの2会場開催にし、講座の内容も見直す。	健康増進課	◎
20	地域型介護予防教室(委託)回数	240回	177回	B	240回	令和7年度は、地域の実情に合わせた教室の実施ができるよう、方法を見直し実施している。	健康増進課	○
21	地域リハビリテーション活動支援事業における専門職派遣事業の実施団体数	6団体	1団体	D	6団体	事業内容の周知を関係機関にしていく。	健康増進課	○

⑫ 自然に健康になれる環境づくり

No	KPI (重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度 目標	令和6年度 実績	評価	令和7年度 目標	担当課コメント	担当部署	自然に健康になれる環境づくり
1	スポーツフェスタの来場者数	6,000人	11,300人	A	5,000人	今後も引き続き開催していく。	スポーツ振興課	○
2	夏休みのラジオ体操カード配布数	10,520枚	10,520枚	A	10,890枚	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	◎
3	夏休みのラジオ体操精進賞表彰数	9,385枚	9,385枚	A	10,069枚		スポーツ振興課	◎
4	学校体育施設の地域住民等への開放実施校数	60校	69校	A	67校	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	◎
5	体育会館等の修繕箇所数	3箇所	3箇所	A	3箇所	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
6	コミュニティセンターにおける各種講座の実施数	44講座	44講座	A	-	今後も継続して、関連する講座の実施を目指す	地域コミュニティ支援課	○
7	熱中症予防対策の協力施設数	150施設	185施設	A	200施設	引き続き、昨年度より参加施設数の増加を目指す。	健康増進課	○
8	地域、職域連携による健康教育の実施数	15回	15回	A	15回	依頼に応じた内容を実施した。 引き続き働きざかり世代への働きかけを行っていく。	健康増進課	○
9	ラジオ体操登録団体数	100団体	83団体	B	100団体	登録団体へは引き続きサポートを行う。	健康増進課	◎
10	食育関係団体との連携数	308機関	308機関	A	310機関	実績値の根拠はE表示協力店(298)+新規登録店(2)+ヘルスメイトよこすか、神奈川県立保健福祉大学、商工会議所、JA、食品衛生協会、イオン、キューピー、味の素(8)。今後も広く連携し、累積して目標を達成していく。	健康増進課	○
11	巡回指導を行った給食施設数	60施設	50施設	B	54施設	目標達成には至らなかったものの、コロナ禍以前と同様に巡回指導が再開できた。また、事業所にも巡回指導を実施することができた。	健康増進課	○
12	特定給食施設講演会参加施設数	67施設	77施設	A	77施設	ハイブリット形式で実施。半数以上がオンラインでの参加。 今後もハイブリット形式で実施していく。	健康増進課	○
13	後期高齢者を対象にしたフレイル予防の普及啓発で日常生活圏域の事業実施(団体数)	10団体	10団体	A	13団体	令和6年度は、地域包括支援センターの協力のもと、実施団体を10圏域より選出した。令和7年度より実施団体数を増加させるため、市内全域から、団体を選出し、実施していく。	健康増進課	○
14	介護予防に関する知識の普及のための教室等の教室参加者数(栄養・運動)	400人	294人	B	400人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。 実施会場の見直しをし、実施していく。	健康増進課	○
15	介護予防サポーター、フレイルサポーター養成数(介護予防・フレイル)	110人	65人	D	100人	委託部分の集客が困難だったためR7度より直営のみの2会場開催にし、講座の内容も見直す。	健康増進課	○

⑬ 誰もがアクセスできる健康増進のための基盤整備

No	KPI (重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度 目標	令和6年度 実績	評価	令和7年度 目標	担当課コメント	担当部署	誰もがアクセスできる健康 増進のための 基盤整備
1	スポーツフェスタの来場者数	6,000人	11,300人	A	5,000人	今後も引き続き開催していく。	スポーツ振興課	○
2	事業所への広報誌「New Wave vol.59」配布数 (商工会議所会報に折込で配布)	-	-	-	-	令和6年度は広報紙への掲載はなかったが、横須賀市のホームページにて周知している。引き続き、横須賀商工会議所と連携し、周知啓発を継続していく。	人権・ダイバーシティ推進課	◎
3	健康アプリ利用者数	5,000人	6,049人	A	7,000人	昨年度より利用者数の増加を目指す。	健康増進課	○
4	巡回指導を行った給食施設数	60施設	50施設	B	54施設	目標達成には至らなかったものの、コロナ禍以前と同様に巡回指導が再開できた。また、事業所にも巡回指導を実施することができた。	健康増進課	◎
5	特定給食施設講演会参加施設数	67施設	77施設	A	77施設	ハイブリット形式で実施。半数以上がオンラインでの参加。今後もハイブリット形式で実施していく。	健康増進課	◎

健康推進プランよこすか事業計画一覧

◎…主な取り組み事業
○…関連する事業

⑭ 子ども（～17歳）

No	KPI（重要業績評価指数） 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度 目標	令和6年度 実績	評価	令和7年度 目標	担当課コメント	担当部署	子ども ～17歳
1	集団フッ化物洗口講習会参加園数	24園	24園	A	25園	園長会や歯みがき教室実施時に講演会やフッ化物洗口事業について周知を図りました。歯科医師会と連絡会においても参加を依頼し、引き続き目標達成に向け取り組みます。	地域健康課	○
2	2歳6カ月児の歯科健康診査受診率	52.9%	42.7%	B	52.9%	目標を達成できるように引き続き実施していきます。	健康管理支援課	○
3	乳幼児歯科健康教室実施回数	24回	24回	A	24回	計画を達成することができました。引き続き実施します。	地域健康課	○
4	歯みがき教室実施希望園の実施率	100%	100%	A	100%	計画を達成することができました。令和6年度は68園でむし歯予防等についての講話・歯みがきの実技指導を実施しました。引き続き実施します。	地域健康課	○
5	小学校歯科巡回教室の実施率	100%	100%	A	100%	市立小学校46校、ろう学校、養護学校において歯みがき教室を実施し、計画を達成することができました。令和6年度からは歯みがきの実技指導も再開され、より充実した保健指導が行えるようになりました。今後も、各学年に応じた内容やPCを活用した工夫をしながら、引き続き歯みがき教室を実施してまいります。	健康増進課	○
6	スカルリン相談会オンライン相談会実施回数	24回	15回	C	12回	オンライン育児相談の参加者が目標より少なかった。令和7年度より、オンライン育児相談会は随時相談に変更した。	地域健康課	○
7	中学2年生を対象としたピロリ菌検査及び除菌治療の 一次検査受験率	90%	86.30%	A	90%	市立中学校生徒は学校検尿の検体を使うことになり受験率が向上した	健康管理支援課	○
8	妊娠期から子育て期における乳幼児健診、相談、訪問 の実施率	100%	100%	A	100%	乳幼児健診時から保護者に寄り添った子育て支援をし、必要に応じて訪問等で継続支援しました。引き続き、切れ目ない支援を実施します。	地域健康課	○
9	妊娠期からの各種教室の実施回数	64回	63回	A	64回	概ね計画とおりに開催できました。教室の周知に努め引き続き実施します。	地域健康課	○
10	母子健康手帳交付時の面接率	100%	100%	A	100%	母子健康手帳交付時アンケートを実施し支援をしています。引き続き面接を実施します。	地域健康課	○
11	子育て期の各種教室の実施回数	254回	275回	A	241回	予約者なしで実施に至らなかったものもありますが、随時教室の周知に努めました。引き続き実施します。	地域健康課	○
12	地域からの依頼による健康教育の実施回数	44回	44回	A	-	地域からの依頼により、子育て支援教室を実施しました。地域の要望に合わせ引き続き実施します。	地域健康課	○
13	生後4カ月までの乳児の養育環境の把握率	100%	100%	A	100%	新生児・乳児家庭訪問を行い、訪問ができなかった家庭については面接等を実施し、全数把握に努めました。引き続き実施します。	地域健康課	○
14	公立保育園での食育パフォーマンの実施回数	16回	12回	B	16回	保育所等の給食で提供される出汁（鰹節、昆布、煮干し等）の試飲や食器の正しい置き方等マナーも含む五感を使った参加型の講義を引き続き実施します	子育て支援課	○
15	市内保育園等98施設に食事のおたよりの配布回数	12回	12回	A	12回	食事の大切さの啓発として引き続き実施します	子育て支援課	○
16	公立保育園にて食育講話の実施回数	96回	96回	A	96回	食事の大切さの啓発として引き続き実施します	子育て支援課	○
17	公立保育園で毎日の給食時に保育士等による食指導および共食の実施園数	8園	8園	A	8園	引き続き実施します	子育て支援課	○
18	公立保育園で園内菜園の実施園数	8園	8園	A	8園	今後も実施し園児が野菜等に興味を持つよう促します	子育て支援課	○
19	公立保育園での健診の実施回数	各園 0～2歳隔月 3～5歳児3回	各園 0～2歳隔月 3～5歳児3回	A	各園 0～2歳隔月 3～5歳児3回	引き続き実施します	子育て支援課	○

⑭ 子ども（～17歳）

No	KPI（重要業績評価指数） 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度 目標	令和6年度 実績	評価	令和7年度 目標	担当課コメント	担当部署	子ども ～17歳
20	青少年相談事業における巡回指導での年間指導助言 件数	326件	218件	C	302件	できる限り若者に声をかけ、「指導」や「助言」に関わらず、地域情報を考慮しながら地域の巡回を行う。	こども家庭支援課	○
21	非行防止講座実施回数	-	0回	-	-	令和6年度は講座の実施依頼がなかったため、周知方法等を検討する必要がある。	こども家庭支援課	○
22	青少年健全育成協力店累計数	283店	283店	A	-	廃業する店舗が増加していること及び新規登録がなかったため減少した。情報発信や講座などの取り組みを総合的に検討する必要がある。	こども家庭支援課	○
23	外部講師を活用したがん教育開催回数	小学校1校 中学校1校	市立小学校2校 市立中学校2校	A	市立小学校1校 市立中学校1校	本事業については、小学校1校、中学校1校を市の公開授業として行い、教育効果を高める指導法について協議を行った。来年度もすそ野が広がるよう取り組む。	保健体育課	○
24	薬物乱用防止(啓発)教室の開催回数	小学校34校 中学校12校 合計46校 (69校中)	小学校34校 中学校12校 合計46校 (69校中)	A	-	専門的な外部講師を活用することで、教育効果の高い学習を行うことができた。来年度も継続して取り組んでいく。	保健体育課	○
25	小学校での歯科巡回教室の開催回数	市立学校全クラス実施	市立学校全クラス実施	A	市立学校全クラス実施	本事業について、小学校の全クラスで行うことで、毎年度自分の歯について考える機会があることは、健康増進の観点においても有効である。来年度も継続して取り組んでいく。	保健体育課	○
26	学校食育研修講座の参加率	95%	98%	A	95%	学校におけるアレルギー疾患への対応をテーマに実施しました。令和7年度は、学校における食に関する指導をテーマに行います。受講者の糧となるよう、計画立案していきます。	学校食育課	○
27	小・中・特別支援学校での給食だより等の配布率	100%	100%	A	17回	令和7年6月からマチコミメールでの配信に切り替わったため、7年度から評価指標を「小・中・ろう学校への献立表とセンター通信発信回数」に、目標も「17回」に変更します。また、4月からオープンデータはBODIK ODCS（オープンデータカタログサイト）への掲載へと変更しています。	学校食育課	○
28	「食に関する指導の全体計画」の実行	100%	100%	A	100%		学校食育課	○
29	「給食時間マニュアル」に基づいた給食指導の実践学校数	71校	71校	A	69校	令和7年4月から統廃合により小学校数が2校減るため、目標数を変更します。	学校食育課	○
30	関連各教科における食に関する指導 (栄養教諭等の活用も含め)の実践学校数	71校	71校	A	69校		学校食育課	○
31	給食センターにおける食育講座の実施回数	20回	17回	B	20回	申込希望数が18回で、申込元事由により開催中止が1回あり、17回実施となりました。周知方法を検討しつつ、令和7年度も実施していきます。	学校食育課	○
32	精神保健対策事業における相談することの大切さについてのポスター配布数	2,000枚	2,000枚	A	2,000枚	毎年9月、3月に自殺予防週間、月間に合わせて啓発ポスターを作成し関係機関に配布している。	保健所保健予防課	○
33	精神保健対策事業における相談機関を掲載した冊子・カードの配布数	10,000枚	14,000枚	A	14,000枚	行政機関を中心に、福祉施設、病院、学校等相談冊子を配布。	保健所保健予防課	○
34	自殺対策キャンペーンの実施回数	2回	2回	A	2回	9月と3月にコースカ、モアーズ入り口前、京急久里浜駅、横須賀中央駅等で開催。相談冊子を配布した	保健所保健予防課	○
35	新体力テスト測定員講習会の参加人数	15人	15人	A	15人	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
36	スポーツフェスタの来場者数	6,000人	11,300人	A	5,000人	今後も引き続き開催していく。	スポーツ振興課	○

⑭ 子ども（～17歳）

No	KPI（重要業績評価指数） 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度 目標	令和6年度 実績	評価	令和7年度 目標	担当課コメント	担当部署	子ども ～17歳
37	夏休みのラジオ体操カード配布数	10,520枚	10,520枚	A	10,890枚	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
38	夏休みのラジオ体操精進賞表彰数	9,385枚	9,385枚	A	10,069枚		スポーツ振興課	○
39	学校体育施設の地域住民等への開放実施校数	60校	69校	A	67校	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
40	市民スポーツ教室数	20教室	20教室	A	20教室	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
41	参加率50%以上のスポーツ教室数	20教室	11教室	D	15教室		スポーツ振興課	○
42	子どもごみ教室(小・中・高校生対象)及びごみトーク(出前トーク、町内会等対象)の実施回数	5回	9回	A	9回	対象を園児まで広げ、主に公立保育園での啓発に力を入れました。	環境政策課	○
43	コミュニティセンターにおける各種講座の実施数	44講座	44講座	A	-	今後も継続して、関連する講座の実施を目指す	地域コミュニティ支援課	○
44	農業交流促進事業の実施校数（児童対象）	3校	3校	A	3校	計画を達成することができました。引き続き実施します。	農水産振興課	○
45	市民大学年間講座実施総数	72講座	72講座	A	-	実績欄には、特に健康増進に関する内容の講座のみを記載したが、他の講座でも多くの受講者があり、社会とのつながりの維持・向上に資する場を提供している。	生涯学習課	○
46	健康教育に関する講演会の参加率	65%	67%	A	70%	健康づくり講演会および働きざかり講演会を開催。健康づくり講演会はラジオ体操をテーマに行い、ラジオ体操活動支援団からの参加も多かった。働きざかり講演会は会場とZOOMで開催した。会場参加のみでなく、ZOOMからの参加者も多く働きざかり世代(40歳から64歳)のZOOM参加が多かった。	健康増進課	○
47	喫煙防止教室の実施	1校	2校	A	2校	2校に対し、喫煙防止教室を実施した。アンケート結果より、喫煙のリスクへの理解が深まっていることも確認ができた。引き続き依頼に応じて実施していく。	健康増進課	○
48	熱中症予防対策の協力施設数	150施設	185施設	A	200施設	引き続き、昨年度より参加施設数の増加を目指す。	健康増進課	○
49	ラジオ体操登録団体数	100団体	83団体	B	100団体	登録団体へは引き続きサポートを行う。	健康増進課	○
50	ヘルスマイト委託事業参加者数	230人	264人	A	280人	実績値の根拠は、保育園での講話(205名)、講話と調理実習(59名)	健康増進課	○
51	食育関係団体との連携数	308機関	308機関	A	310機関	実績値の根拠はE表示協力店(298)+新規登録店(2)+ヘルスマイトよこすか、神奈川県立保健福祉大学、商工会議所、JA、食品衛生協会、イオン、キュービー、味の素(8)。今後も広く連携し、累積して目標を達成していく。	健康増進課	○
52	巡回指導を行った給食施設数	60施設	50施設	B	54施設	目標達成には至らなかったものの、コロナ禍以前と同様に巡回指導が再開できた。また、事業所にも巡回指導を実施することができた。	健康増進課	○
53	特定給食施設講演会参加施設数	67施設	77施設	A	77施設	ハイブリット形式で実施。半数以上がオンラインでの参加。今後もハイブリット形式で実施していく。	健康増進課	○

⑮ 成人（18～64歳）

No	KPI（重要業績評価指数） 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度 目標	令和6年度 実績	評価	令和7年度 目標	担当課コメント	担当部署	成人 18～64 歳
1	集団フッ化物洗口講習会参加園数	24園	24園	A	25園	園長会や歯みがき教室実施時に講演会やフッ化物洗口事業について周知を図りました。歯科医師会と連絡会においても参加を依頼し、引き続き目標達成に向け取り組めます。	地域健康課	○
2	歯周病検診受診率	11.8%	11.1%	A	12.1%	受診率は概ね達成できました。引き続き実施していきます。今後はSNS等を利用し、検診の重要性をお伝えし受診率アップを目指します。	健康管理支援課	○
3	妊婦歯科検診受診率	30.2%	28.6%	A	32.0%	目標は達成できませんでした。今後はSNS等を利用し、検診の重要性をお伝えし受診率アップを目指します。	健康管理支援課	○
4	オーラルフレイル予防教室参加者数	360人	271人	B	360人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を超えることができた。実施会場の見直しや周知方法を工夫し引き続き計画達成に向け取り組む。	健康増進課	○
5	スカリン相談会オンライン相談会実施回数	24回	15回	C	12回	オンライン育児相談の参加者が目標より少なかった。令和7年度より、オンライン育児相談会は随時相談に変更した。	地域健康課	○
6	がん検診初診者数	25,000人	25,084人	A	25,000人	目標値に向け、引き続き継続していく	健康管理支援課	○
7	がん検診無料クーポン券の発送件数	13,750件	13,346件	A	12,500件	効果的な勧奨の実施を行っていく	健康管理支援課	○
8	がんの精密検査未受診勧奨実施件数	1,150件	1,398件	A	1,150件	未受診者が少しでも減るよう対策をたてていく	健康管理支援課	○
9	市のホームページ等に検診実施医療機関情報 (日曜診療等)の掲載医療機関件数	137件	151件	A	150件	引き続き医療機関と情報共有を行いながら実施していく	健康管理支援課	○
10	市民健診講演会実施回数	1回	1回	A	1回	引き続き、より良い方法での実施を模索していく	健康管理支援課	○
11	医療保険非該当者の保健指導実施人数	10人	11人	A	10人	登録後初めて実施する医療機関が増えた。引き続き継続していく	健康管理支援課	○
12	骨密度検診受診者数	3,250人	3,184人	A	1,865人	令和7年度より対象者を定め医療機関でも実施できる仕組みを構築した	健康管理支援課	○
13	健診センター特定健診受診者数 (40歳～74歳の国民健康保険・社会保険の被保険者)	3,268人	3,069人	A	2,669人	目標値に向け引き続き継続していく	健康管理支援課	○

⑮ 成人（18～64歳）

No	KPI（重要業績評価指数） 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度 目標	令和6年度 実績	評価	令和7年度 目標	担当課コメント	担当部署	成人 18～64 歳
14	健診センターの休日健診実施回数	3回	3回	A	3回	引き続き継続していく	健康管理支援課	○
15	健診センターにおける生活習慣病の予防と改善を目的とした結果説明会実施回数	11回	11回	A	11回	引き続き継続していく	健康管理支援課	○
16	毎月市のホームページに健診実施医療機関情報を掲載	11回	11回	A	11回	引き続き掲載内容を適宜更新、確認していく	健康管理支援課	○
17	生活習慣病の特定健診受診率 (国民健康保険加入の40～74歳が対象)	33.0%	実績は10月以降に確定		34.0%	20.1%(令和7年2月時点の速報値) 前年同時期と比較すると2.3ポイント伸びている	健康管理支援課	○
18	特定保健指導実施率	15.0%	実績は10月以降に確定		16.0%	0%(令和7年2月時点の速報値) 前年同時期と同レベル。実績は今後伸びてくる見込み。	健康管理支援課	○
19	特定健康診査の結果、血圧のリスクがある方へ重症化を予防する支援を実施率	38.5%	21.5%	D	38.5%	血糖の受診率は目標値を達成。血圧・脂質の受診率は、目標未達成となっている。引き続き効果的な方法を模索しながら対応していく。	健康増進課	○
20	特定健康診査の結果、血糖のリスクがある方へ重症化を予防する支援を実施率	38.5%	47.4%	A	38.5%		健康増進課	○
21	特定健康診査の結果、脂質のリスクがある方へ重症化を予防する支援を実施率	38.5%	30.0%	B	38.5%		健康増進課	○
22	特定健康診査の結果、腎臓のリスクがある方へ重症化を予防する支援を実施率	51.5%	実績は8月以降に確定		51.7%	腎臓専門医、医師会等と検討し、R7年度より照会基準等変更予定。	健康管理支援課	○
23	妊娠期からの各種教室の実施回数	64回	63回	A	64回	概ね計画とおりに開催できました。教室の周知に努め引き続き実施します。	地域健康課	○
24	母子健康手帳交付時の面接率	100%	100%	A	100%	母子健康手帳交付時アンケートを実施し支援をしています。引き続き面接を実施します。	地域健康課	○
25	子育て期の各種教室の実施回数	254回	275回	A	241回	予約者なしで実施に至らなかったものもありますが、随時教室の周知に努めました。引き続き実施します。	地域健康課	○
26	地域からの依頼による健康教育の実施回数	44回	44回	A	-	地域からの依頼により、子育て支援教室を実施しました。地域の要望に合わせて引き続き実施します。	地域健康課	○
27	生後4カ月までの乳児の養育環境の把握率	100%	100%	A	100%	新生児・乳児家庭訪問を行い、訪問ができなかった家庭については面接等を実施し、全数把握に努めました。引き続き実施します。	地域健康課	○

⑮ 成人（18～64歳）

No	KPI（重要業績評価指数） 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度 目標	令和6年度 実績	評価	令和7年度 目標	担当課コメント	担当部署	成人 18～64 歳
28	職域との連携による健康教育の実施回数	1回	1回	A	1回	鎌倉保健福祉事務所、鎌倉保健福祉三崎センター、労働基準監督署、横須賀市保健所合同で研修会を実施。	保健所保健予防課	○
29	精神保健対策事業における相談することの大切さについてのポスター配布数	2,000枚	2,000枚	A	2,000枚	毎年9月、3月に自殺予防週間、月間に合わせて啓発ポスターを作成し関係機関に配布している。	保健所保健予防課	○
30	精神保健対策事業における相談機関を掲載した冊子・カードの配布数	10,000枚	14,000枚	A	14,000枚	行政機関を中心に、福祉施設、病院、学校等相談冊子を配布。	保健所保健予防課	○
31	精神保健対策事業におけるホームページ上に掲載する相談機関数	125機関	125機関	A	125機関	相談窓口紹介冊子をホームページ上に記載。（冊子内の相談機関数）	保健所保健予防課	○
32	自殺対策キャンペーンの実施回数	2回	2回	A	2回	9月と3月にコースカ、モアーズ入り口前、京急久里浜駅、横須賀中央駅等で開催。相談冊子を配布した	保健所保健予防課	○
33	精神保健対策事業における講演会・研修会及び地域からの依頼による教室の実施回数	1回	2回	A	1回	6年度は①北久里浜まちづくり協議会「こころの病について」②米軍基地「職場・家庭のメンタルケア」と2回実施。 7年度についても依頼があれば随時実施予定。	保健所保健予防課	○
34	学校へのスポーツ推進委員の派遣人数	20人	45人	A	20人	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
35	スポーツフェスタの来場者数	6,000人	11,300人	A	5,000人	今後も引き続き開催していく。	スポーツ振興課	○
36	夏休みのラジオ体操カード配布数	10,520枚	10,520枚	A	10,890枚	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
37	夏休みのラジオ体操精進賞表彰数	9,385枚	9,385枚	A	10,069枚		スポーツ振興課	○
38	学校体育施設の地域住民等への開放実施校数	60校	69校	A	67校	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
39	市民スポーツ教室数	20教室	20教室	A	20教室	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
40	参加率50%以上のスポーツ教室数	20教室	11教室	D	15教室		スポーツ振興課	○
41	コミュニティセンターにおける各種講座の実施数	44講座	44講座	A	-	今後も継続して、関連する講座の実施を目指す	地域コミュニティ支援課	○
42	市民大学年間講座実施総数	72講座	72講座	A	-	実績欄には、特に健康増進に関する内容の講座のみを記載したが、他の講座でも多くの受講者があり、社会とのつながりの維持・向上に資する場を提供している。	生涯学習課	○
43	事業所への広報誌「New Wave vol.59」配布数 (商工会議所会報に折込で配布)	-	-	-	-	令和6年度は広報紙への掲載はなかったが、横須賀市のホームページにて周知している。 引き続き、横須賀商工会議所と連携し、周知啓発を継続していく。	人権・ダイバーシティ推進課	○

⑮ 成人（18～64歳）

No	KPI（重要業績評価指数） 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度 目標	令和6年度 実績	評価	令和7年度 目標	担当課コメント	担当部署	成人 18～64 歳
44	集団健康教育の参加率	60%	18.7%	D	60%	実施方法を変更し、定員を増やしたため定員に対する参加率が減少した。参加状況を鑑み、回数を6回から4回に、定員を50人から30人に変更して開催予定。また、申込者に対し、当日欠席となる市民が多い（約半分が当日不参加）ため、申込期間を短縮し忘れにくくし、またリマインドメールが届く方法での申込も導入している。	健康増進課	○
45	健康教育に関する講演会の参加率	65%	67%	A	70%	健康づくり講演会および働きざかり講演会を開催。健康づくり講演会はラジオ体操をテーマに行い、ラジオ体操活動支援団からの参加も多かった。働きざかり講演会は会場とZOOMで開催した。会場参加のみでなく、ZOOMからの参加者も多く働きざかり世代（40歳から64歳）のZOOM参加が多かった。	健康増進課	○
46	喫煙防止教室の実施	1校	2校	A	2校	2校に対し、喫煙防止教室を実施した。アンケート結果より、喫煙のリスクへの理解が深まっていることも確認ができた。引き続き依頼に応じて実施していく。	健康増進課	○
47	熱中症予防対策の協力施設数	150施設	185施設	A	200施設	引き続き、昨年度より参加施設数の増加を目指す。	健康増進課	○
48	地域、職域連携による健康教育の実施数	15回	15回	A	15	依頼に応じた内容を実施した。引き続き働きざかり世代への働きかけを行っていく。	健康増進課	○
49	ラジオ体操登録団体数	100団体	83団体	B	100団体	登録団体へは引き続きサポートを行う。	健康増進課	○
50	健康アプリ利用者数	5,000人	6,049人	A	7,000人	昨年度より利用者数の増加を目指す。	健康増進課	○
51	ヘルスマイト委託事業参加者数	230人	264人	A	280人	実績値の根拠は、保育園での講話（205名）、講話と調理実習（59名）	健康増進課	○
52	食育に関する教室等の講習会参加率	70%	76%	A	70%	実績値の根拠は、魚のさばき方教室（申込15名、参加14名）、食育推進調理講習（申込40名、参加28名）	健康増進課	○
53	食育関係団体との連携数	308機関	308機関	A	310機関	実績値の根拠はE表示協力店（298）+新規登録店（2）+ヘルスマイトよこすか、神奈川県立保健福祉大学、商工会議所、JA、食品衛生協会、イオン、キュービー、味の素（8）。今後も広く連携し、累積して目標を達成していく。	健康増進課	○
54	食育推進キャンペーンの参加者数	1,400人	3,767人	A	-	健康フェスタの総数を計上。食育ブースとしては1040名。	健康増進課	○
55	巡回指導を行った給食施設数	60施設	50施設	B	54施設	目標達成には至らなかったものの、コロナ禍以前と同様に巡回指導が再開できた。また、事業所にも巡回指導を実施することができた。	健康増進課	○
56	特定給食施設講演会参加施設数	67施設	77施設	A	77施設	ハイブリット形式で実施。半数以上がオンラインでの参加。今後もハイブリット形式で実施していく。	健康増進課	○
57	一般健康相談の満足度	80%	94%	A	90%	17名の参加があり、満足度は高かった。引き続き実施していく。	健康増進課	○
58	介護予防サポーター、フレイルサポーター養成数 （介護予防・フレイル）	110人	65人	D	100人	委託部分の集客が困難だったためR7度より直営のみの2会場開催にし、講座の内容も見直す。	健康増進課	○

健康推進プランよこすか事業計画一覧

◎…主な取り組み事業
○…関連する事業

⑯ 高齢者（65歳～）

No	KPI（重要業績評価指数） 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度目標	令和6年度実績	評価	令和7年度目標	担当課コメント	担当部署	高齢者 65歳～
1	歯周病検診受診率	11.8%	11.1%	A	12.1%	受診率は概ね達成できました。引き続き実施していきます。今後はSNS等を利用し、検診の重要性をお伝えし受診率アップを目指します。	健康管理支援課	○
2	オーラルフレイル予防教室参加者数	360人	271人	B	360人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を超えることができた。実施会場の見直しや周知方法を工夫し引き続き計画達成に向け取り組む。	健康増進課	○
3	ミニオーラルフレイル教室参加者のオーラルフレイル認知度（65歳以上）	38.80%	55.30%	A	56.40%	目標を達成することができた。若い世代から関心がもてるよう、引き続き普及啓発をおこなっていく。	健康増進課	○
4	がん検診初診者数	25,000人	25,084人	A	25,000人	目標値に向け、引き続き継続していく	健康管理支援課	○
5	がん検診無料クーポン券の発送件数	13,750件	13,346件	A	12,500件	効果的な勧奨の実施を行っていく	健康管理支援課	○
6	がんの精密検査未受診勧奨実施件数	1,150件	1,398件	A	1,150件	未受診者が少しでも減るよう対策をたてていく	健康管理支援課	○
7	市のホームページ等に検診実施医療機関情報（日曜診療等）の掲載医療機関件数	137件	151件	A	150件	引き続き医療機関と情報共有を行いながら実施していく	健康管理支援課	○
8	市民健診講演会実施回数	1回	1回	A	1回	引き続き、より良い方法での実施を模索していく	健康管理支援課	○
9	医療保険非該当者の保健指導実施人数	10人	11人	A	10人	登録後初めて実施する医療機関が増えた。引き続き継続していく	健康管理支援課	○
10	骨密度検診受診者数	3,250人	3,184人	A	1,865人	令和7年度より対象者を定め医療機関でも実施できる仕組みを構築した	健康管理支援課	○
11	健診センター特定健診受診者数（40歳～74歳の国民健康保険・社会保険の被保険者）	3,268人	3,069人	A	2,669人	目標値に向け引き続き継続していく	健康管理支援課	○
12	健診センターの休日健診実施回数	3回	3回	A	3回	引き続き継続していく	健康管理支援課	○
13	健診センターにおける生活習慣病の予防と改善を目的とした結果説明会実施回数	11回	11回	A	11回	引き続き継続していく	健康管理支援課	○
14	毎月市のホームページに健診実施医療機関情報を掲載	11回	11回	A	11回	引き続き掲載内容を適宜更新、確認していく	健康管理支援課	○
15	生活習慣病の特定健診受診率（国民健康保険加入の40～74歳が対象）	33.0%	実績は10月以降に確定		34.0%	20.1%（令和7年2月時点の速報値） 前年同時期と比較すると2.3ポイント伸びている	健康管理支援課	○
16	特定保健指導実施率	15.0%	実績は10月以降に確定		16.0%	0%（令和7年2月時点の速報値） 前年同時期と同レベル。実績は今後伸びてくる見込み。	健康管理支援課	○
17	特定健康診査の結果、血圧のリスクがある方へ重症化を予防する支援を実施率	38.5%	21.5%	D	38.5%	血糖の受診率は目標値を達成。血圧・脂質の受診率は、目標未達成となっている。引き続き効果的な方法を模索しながら対応していく。	健康増進課	○
18	特定健康診査の結果、血糖のリスクがある方へ重症化を予防する支援を実施率	38.5%	47.4%	A	38.5%		健康増進課	○
19	特定健康診査の結果、脂質のリスクがある方へ重症化を予防する支援を実施率	38.5%	30.0%	B	38.5%		健康増進課	○
20	特定健康診査の結果、腎臓のリスクがある方へ重症化を予防する支援を実施率	51.5%	実績は8月以降に確定		51.7%	腎臓専門医、医師会等と検討し、R7年度より照会基準等変更予定。	健康管理支援課	○

⑩ 高齢者（65歳～）

No	KPI（重要業績評価指数） 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度目標	令和6年度実績	評価	令和7年度目標	担当課コメント	担当部署	高齢者 65歳～
21	生後4カ月までの乳児の養育環境の把握率	100%	100%	A	100%	新生児・乳児家庭訪問を行い、訪問ができなかった家庭については面接等を実施し、全数把握に努めました。引き続き実施します。	地域健康課	○
22	職域との連携による健康教育の実施回数	1回	1回	A	1回	鎌倉保健福祉事務所、鎌倉保健福祉三崎センター、労働基準監督署、横須賀市保健所合同で研修会を実施。	保健所保健予防課	○
23	精神保健対策事業における相談することの大切さについてのポスター配布数	2,000枚	2,000枚	A	2,000枚	毎年9月、3月に自殺予防週間、月間に合わせて啓発ポスターを作成し関係機関に配布している。	保健所保健予防課	○
24	精神保健対策事業における相談機関を掲載した冊子・カードの配布数	10,000枚	14,000枚	A	14,000枚	行政機関を中心に、福祉施設、病院、学校等相談冊子を配布。	保健所保健予防課	○
25	自殺対策キャンペーンの実施回数	2回	2回	A	2回	9月と3月にコースカ、モアーズ入り口前、京急久里浜駅、横須賀中央駅等で開催。相談冊子を配布した	保健所保健予防課	○
26	学校へのスポーツ推進委員の派遣人数	20人	45人	A	20人	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
27	スポーツフェスタの来場者数	6,000人	11,300人	A	5,000人	今後も引き続き開催していく。	スポーツ振興課	○
28	夏休みのラジオ体操カード配布数	10,520枚	10,520枚	A	10,890枚	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
29	夏休みのラジオ体操精進賞表彰数	9,385枚	9,385枚	A	10,069枚		スポーツ振興課	○
30	学校体育施設の地域住民等への開放実施校数	60校	69校	A	67校	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
31	市民スポーツ教室数	20教室	20教室	A	20教室	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
32	参加率50%以上のスポーツ教室数	20教室	11教室	D	15教室		スポーツ振興課	○
33	コミュニティセンターにおける各種講座の実施数	44講座	44講座	A	-	今後も継続して、関連する講座の実施を目指す	地域コミュニティ支援課	○
34	市民大学年間講座実施総数	72講座	72講座	A	-	実績欄には、特に健康増進に関する内容の講座のみを記載したが、他の講座でも多くの受講者があり、社会とのつながりの維持・向上に資する場を提供している。	生涯学習課	○
35	集団健康教育の参加率	60%	18.7%	D	60%	実施方法を変更し、定員を増やしたため定員に対する参加率が減少した。参加状況を鑑み、回数を6回から4回に、定員を50人から30人に変更して開催予定。また、申込者に対し、当日欠席となる市民が多い（約半分が当日不参加）ため、申込期間を短縮し忘れにくくし、またリマインドメールが届く方法での申込も導入している。	健康増進課	○
36	健康教育に関する講演会の参加率	65%	67%	A	70%	健康づくり講演会および働きざかり講演会を開催。健康づくり講演会はラジオ体操をテーマに行い、ラジオ体操活動支援団からの参加も多かった。働きざかり講演会は会場とZOOMで開催した。会場参加のみでなく、ZOOMからの参加者も多く働きざかり世代（40歳から64歳）のZOOM参加が多かった。	健康増進課	○

⑩ 高齢者（65歳～）

No	KPI（重要業績評価指数） 目標達成に向けた進捗状況を定量的に 評価するための指標	令和6年度目標	令和6年度実績	評価	令和7年度目標	担当課コメント	担当部署	高齢者 65歳～
37	喫煙防止教室の実施	1校	2校	A	2校	2校に対し、喫煙防止教室を実施した。アンケート結果より、喫煙のリスクへの理解が深まっていることも確認ができた。引き続き依頼に応じて実施していく。	健康増進課	○
38	熱中症予防対策の協力施設数	150施設	185施設	A	200施設	引き続き、昨年度より参加施設数の増加を目指す。	健康増進課	○
39	地域、職域連携による健康教育の実施数	15回	15回	A	15回	依頼に応じた内容を実施した。引き続き働きざかり世代への働きかけを行っていく。	健康増進課	○
40	ラジオ体操登録団体数	100団体	83団体	B	100団体	登録団体へは引き続きサポートを行う。	健康増進課	○
41	健康アプリ利用者数	5,000人	6,049人	A	7,000人	昨年度より利用者数の増加を目指す。	健康増進課	○
42	ヘルスマイト委託事業参加者数	230人	264人	A	280人	実績値の根拠は、保育園での講話(205名)、講話と調理実習(59名)	健康増進課	○
43	食育に関する教室等の講習会参加率	70%	76%	A	70%	実績値の根拠は、魚のさばき方教室(申込15名、参加14名)、食育推進調理講習(申込40名、参加28名)	健康増進課	○
44	食育関係団体との連携数	308機関	308機関	A	310機関	実績値の根拠はE表示協力店(298)+新規登録店(2)+ヘルスマイトよこすか、神奈川県立保健福祉大学、商工会議所、JA、食品衛生協会、イオン、キュービー、味の素(8)。今後も広く連携し、累積して目標を達成していく。	健康増進課	○
45	食育推進キャンペーンの参加者数	1,400人	3,767人	A	-	健康フェスタの総数を計上。食育ブースとしては1040名。	健康増進課	○
46	巡回指導を行った給食施設数	60施設	50施設	B	54施設	目標達成には至らなかったものの、コロナ禍以前と同様に巡回指導が再開できた。また、事業所にも巡回指導を実施することができた。	健康増進課	○
47	特定給食施設講演会参加施設数	67施設	77施設	A	77施設	ハイブリット形式で実施。半数以上がオンラインでの参加。今後もハイブリット形式で実施していく。	健康増進課	○
48	一般健康相談の満足度	80%	94%	A	90%	17名の参加があり、満足度は高かった。引き続き実施していく。	健康増進課	○
49	後期高齢者を対象にした保健事業で日常生活圏域の事業実施(圏域数)	10圏域	10圏域	A	10圏域	市内10圏域全域で実施することができた。引き続き市内全域で実施していく。	健康増進課	○
50	後期高齢者を対象にしたフレイル予防の普及啓発で日常生活圏域の事業実施(団体数)	10団体	10団体	A	13団体	令和6年度は、地域包括支援センターの協力のもと、実施団体を10圏域より選出した。令和7年度より実施団体数を増加させるため、市内全域から、団体を選出し、実施していく。	健康増進課	○
51	介護予防に関する知識の普及のための教室等の教室参加者数(栄養・運動)	400人	294人	B	400人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。実施会場の見直しをし、実施していく。	健康増進課	○
52	介護予防サポーター、フレイルサポーター養成数(介護予防・フレイル)	110人	65人	D	100人	委託部分の集客が困難だったためR7度より直営のみの2会場開催にし、講座の内容も見直す。	健康増進課	○
53	地域型介護予防教室(委託)回数	240回	177回	B	240回	令和7年度は、地域の実情に合わせた教室の実施ができるよう、方法を見直し実施している。	健康増進課	○
54	地域リハビリテーション活動支援事業における専門職派遣事業の実施団体数	6団体	1団体	D	6団体	事業内容の周知を関係機関にしている。	健康増進課	○